

取付・設置説明書

もくじ

・安全上のご注意	1
・取付・設置前の確認	2
・ボルト壁出し位置	3
・取付・設置方法	
シングルドロワ Wall typeの場合	4~15
ダブルドロワ AF typeの場合	16~34
シングルドロワ AF typeの場合	35~47
・引き出し前板の調整	48
・取付・設置後の点検・清掃／	49
ホルムアルデヒド発散区分	



安全上のご注意

必ずお守りください

取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。

■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。
---	---------------------------------------

 警告	
ミラー、洗面およびその他の洗面パーツの取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。	電気工事・水道工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
	
落下して、ケガをする恐れがあります。	火災・感電・水漏れの原因になることがあります。

 注意	
取付・設置完了後は、扉のガタつきが無いことを確認してください。	組み込まれる電気機器・水栓などについては、それぞれの施工説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。
	
扉が外れて、ケガをする恐れがあります。	思わぬ事故や故障の原因になることがあります。
排水器具・排水ホースの取付けおよび給排水管の接続部分のシーリングは、確実に行ってください。	
	
水が漏れたり、湿気が上がり、床などが腐る恐れがあります。	

取付・設置前の確認

1 注文した製品が納入されているか確認してください。

2 配管、配線の確認

- ・取付・設置図および指示通りに、給水・給湯管、排水管、電気配線などが施工されているか確認してください。

3 補強桟の確認

- ・壁面の取付位置に、補強桟（幅90mm×厚み30mm以上）があることを確認してください。
補強桟は必ず柱・間柱・縦桟木などの建築躯体に固定してください。
補強桟がない場合は、壁面の取付板厚が30mm以上になるように合板を貼り付けてください。
※壁の強度や本体の固定が不十分な場合、トップや収納ユニットが落下してケガをする恐れがあります。
また、壁面固定ネジの外れやガタツキ、たわみの原因となります。

4 取付壁面の確認

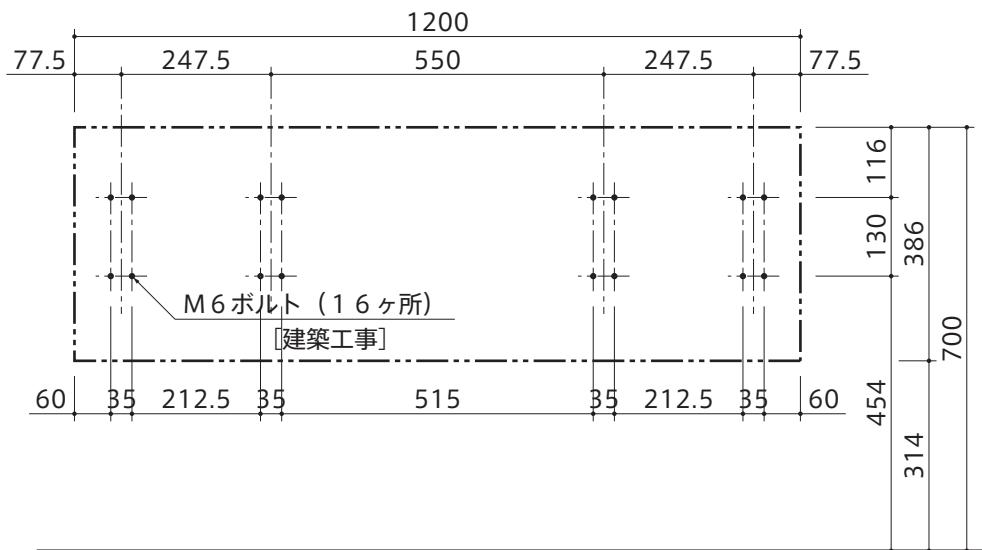
- ・製品を固定する壁面は平らに、かつ床面に対して垂直に仕上げてください。
※壁面が平でない場合、製品が変形し、扉面に著しい段差が生じことがあります。
- ・壁の不陸が5mm／2mを超える場合は、必ず壁を施工しなおしてください。
※不陸があるまま取付けると、トップや収納ユニットがひずむ場合があります。
- ・コンクリート壁の場合、六角コーチスクリューで固定する際はアンカーを使用してください。

5 ボルト壁出しの確認

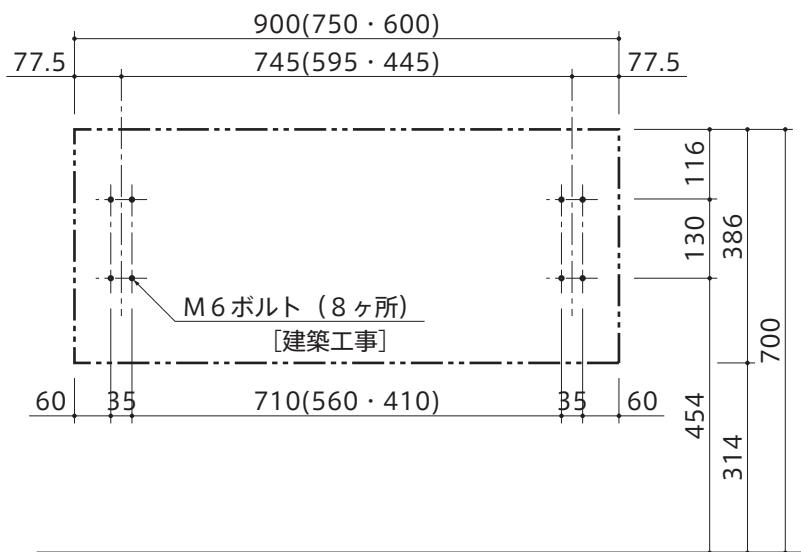
- ・洗面ユニット【シングルドロワ Wall type】を取付・設置する場合、あらかじめ壁の指定位置にM6ボルトが30mm程度出ているか確認してください。（「ボルト壁出し位置」参照）
※六角コーチスクリューを使用する場合は不要です。
ユニットを取付ける壁は、1ユニットにつき150kg荷重に耐えうる構造になっているか確認してください。

ボルト壁出し位置 [Wall Type Case]

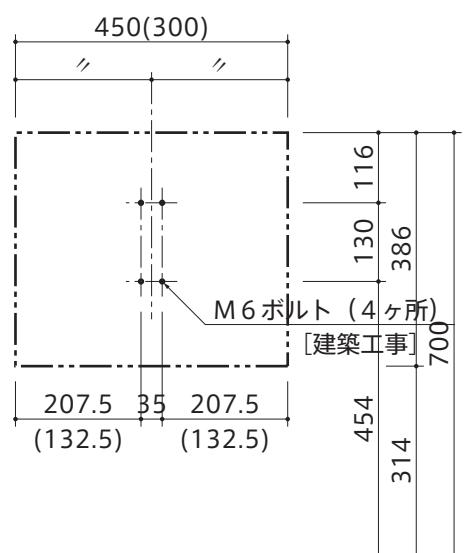
■間口1200の場合 [正面図]



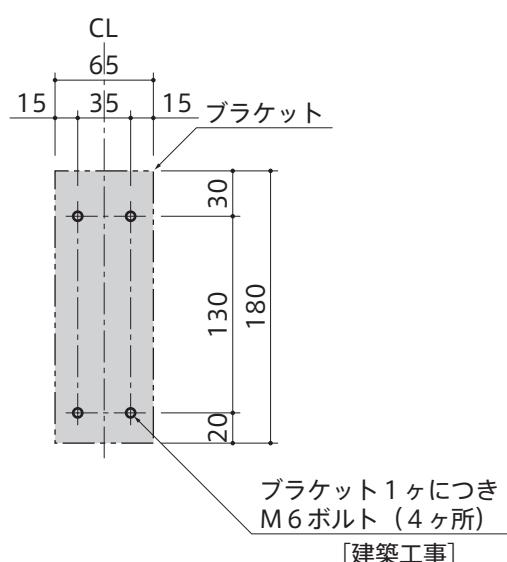
■間口900(750・600)の場合 [正面図]



■間口450(300)の場合 [正面図]



■ボルト壁出し位置詳細図



取付・設置方法【シングルドロワ Wall type】

① ブラケットの取付け

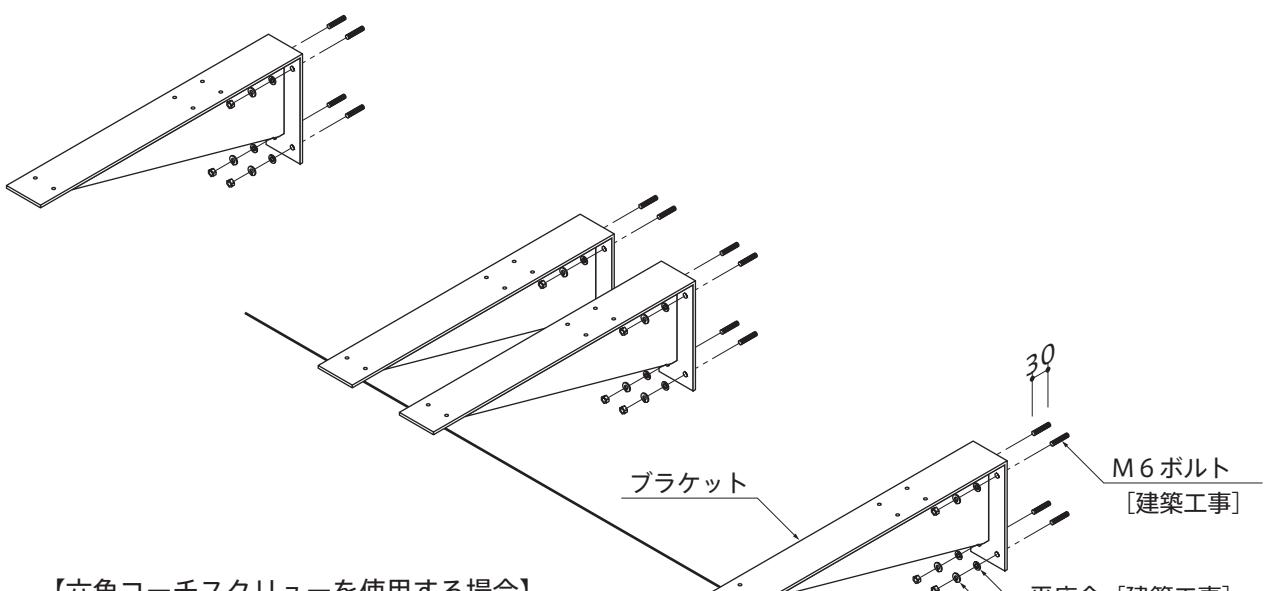
【M 6 ボルトを使用する場合】

- あらかじめ壁の指定位置にM 6 ボルト〔建築工事〕を出しておきます。
ボルトは壁から30 mm程度出るようにしてください。
- 壁から出ているボルトにブラケットを差し込み、ボルトに平座金〔建築工事〕とバネ座金〔建築工事〕を通して、六角ナット（M 6）〔建築工事〕を締めて固定します。

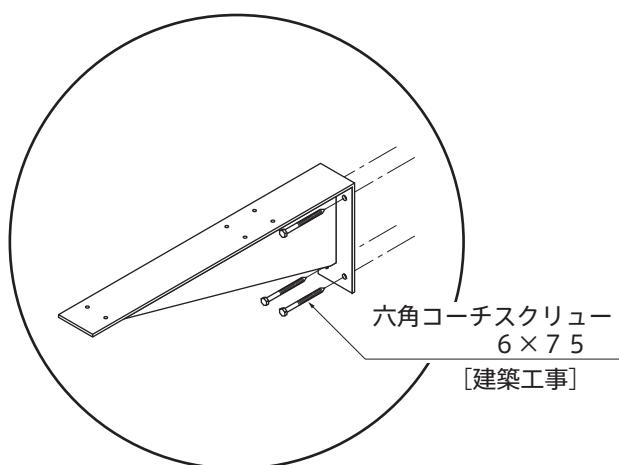
【六角コーチスクリューを使用する場合】

- 六角コーチスクリュー6×75〔建築工事〕にてブラケットを固定します。（固定位置は「ボルト壁出し位置」参照のこと。）

【M 6 ボルトを使用する場合】

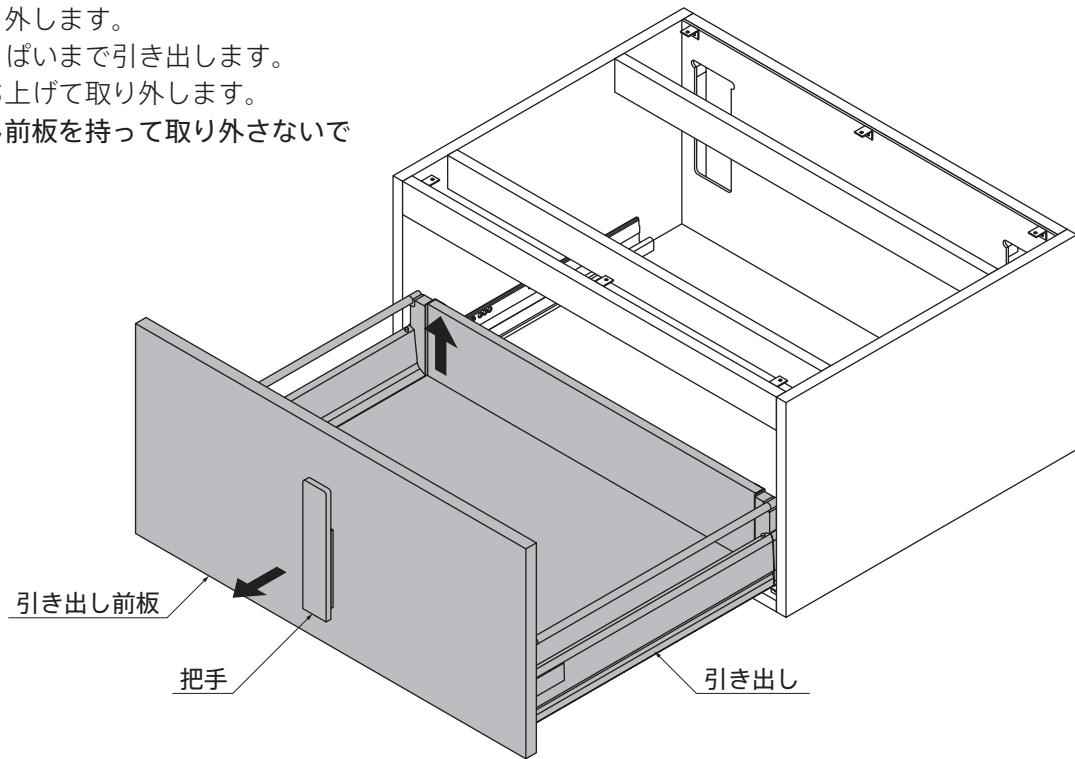


【六角コーチスクリューを使用する場合】



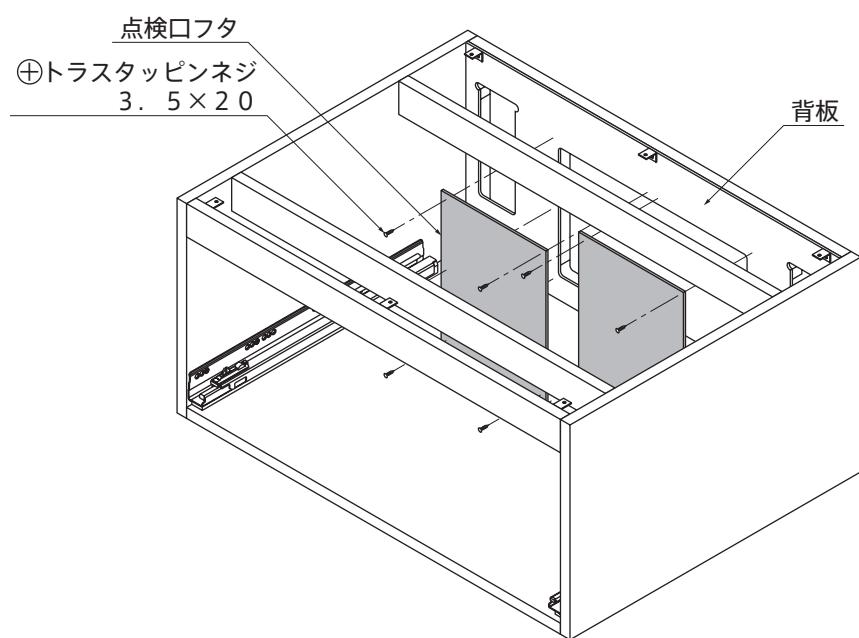
2 引き出しの取り外し

- ・引き出しを取り外します。
 - 引き出しをいっぶいまで引き出します。
 - 引き出しを持ち上げて取り外します。
- ※把手や引き出し前板を持って取り外さないでください。



3 点検口フタの取り外し（※ボウルユニットの場合）

- ユニット背板から点検口フタを取り外します。
 - 点検口フタを固定している⊕トラスタッピンネジ 3. 5 × 20 (10本) を外します。
- ※取り外した点検口フタとネジはユニットを壁面に固定後、再び使用しますのでなくさないようにしてください。

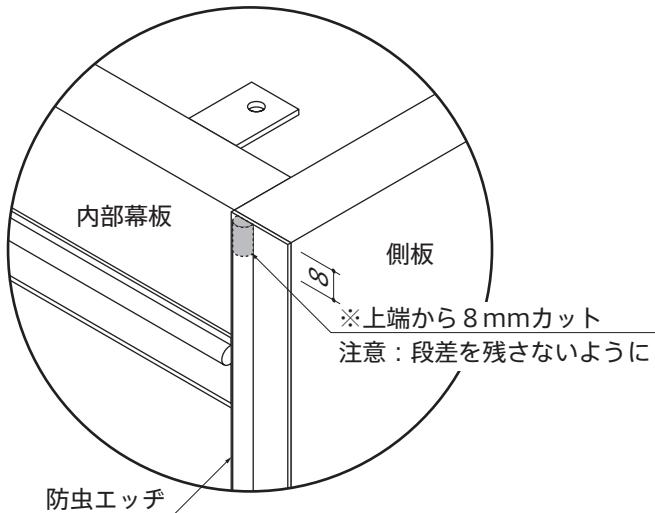


4 防虫エッチの加工

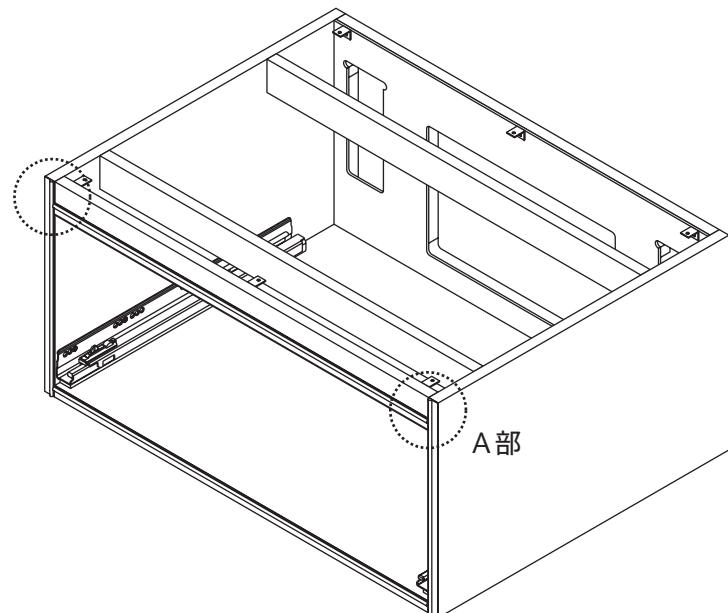
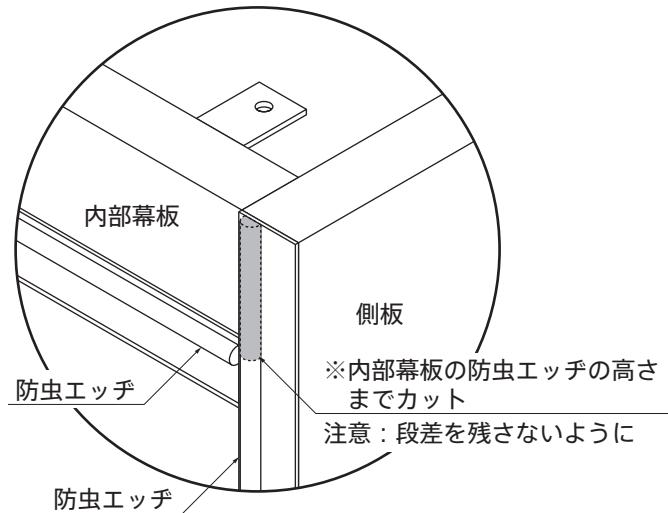
- ユニット側板の防虫エッチをカットします。
ハンドル付きの場合は、側板上部の防虫エッチを上端から8mmの位置までカットします。
ハンドルレスの場合は、側板上部の防虫エッチを内部幕板の防虫エッチの高さまでカットします。
※カットした部分にスリット化粧板を貼るため、段差を残さないようにきれいに仕上げてください。

A部詳細図

【ハンドル付きの場合】



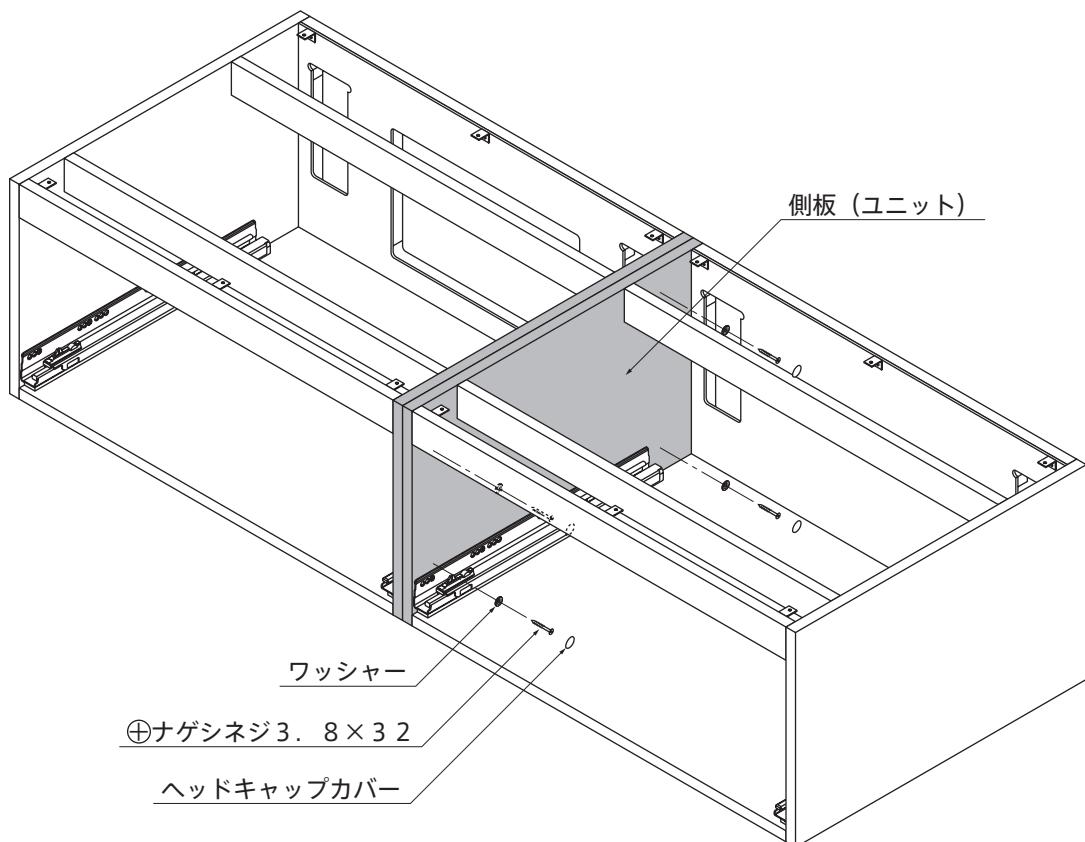
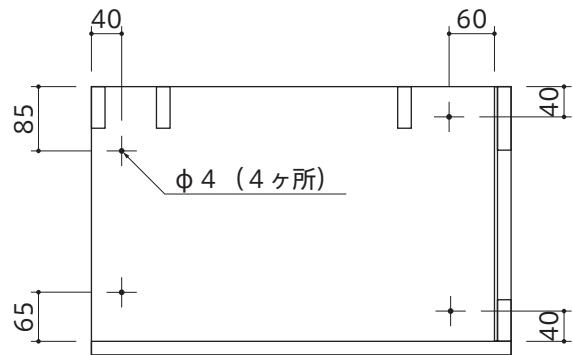
【ハンドルレスの場合】



5 ユニットの連結（※ユニットを連結する場合）

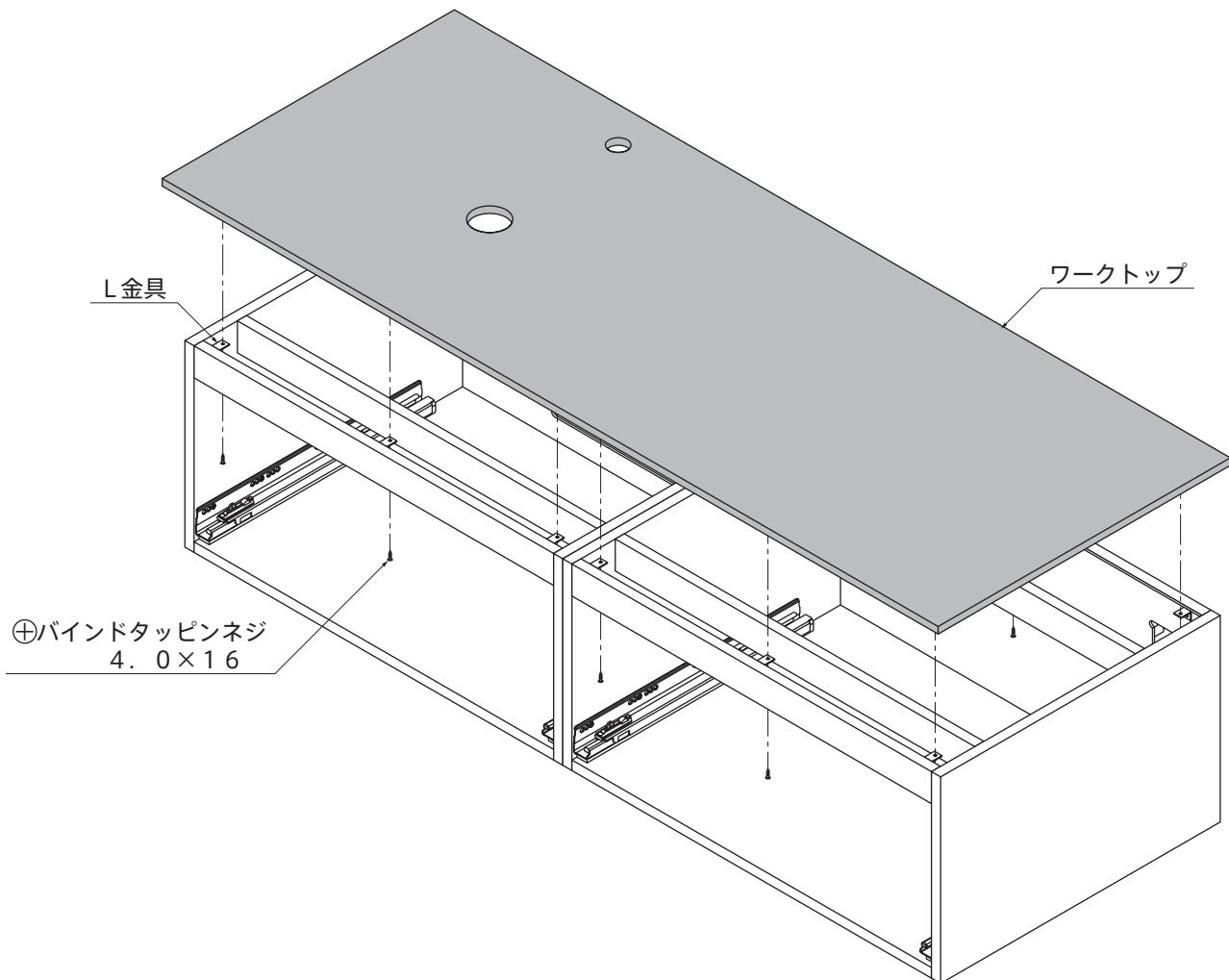
- ユニットの側板外面を合わせて、ユニット同士を連結します。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（4ヶ所）をあけます。
- ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

■ユニット連結位置
[側板側面図]



6 ワークトップの取付け

- ユニットの上にワークトップをのせ、背面を壁につけます。
- ユニットに取付けてあるL金具から \oplus バインドタッピンネジ4. 0×12にてワークトップを固定します。



7 スリット化粧板の取付け

- ・スリット化粧板（26mm）をユニット奥行に合わせてカットします。
- ・スリット化粧板（26mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、ワークトップ下地の側面上端に合わせて貼り付けます。
- ・スリット化粧板（ハンドル付きの場合26mm、ハンドルレスの場合53mm）をユニット全体間口と両側のスリット化粧板の厚みを合わせたサイズにカットします。
- ・スリット化粧板（26mmまたは53mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、ワークトップ下地の前面上端に合わせて貼り付けます。

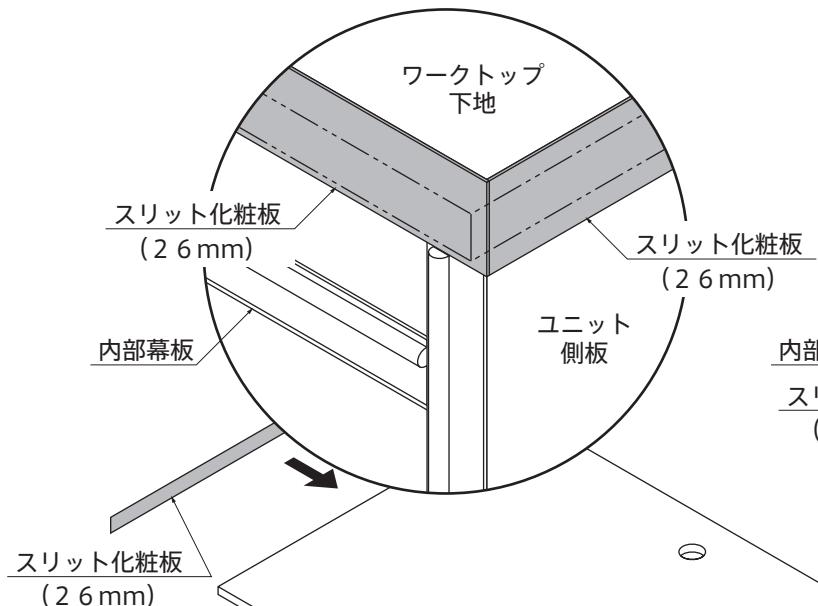
※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。

※一度貼ったら剥がしにくいため、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。

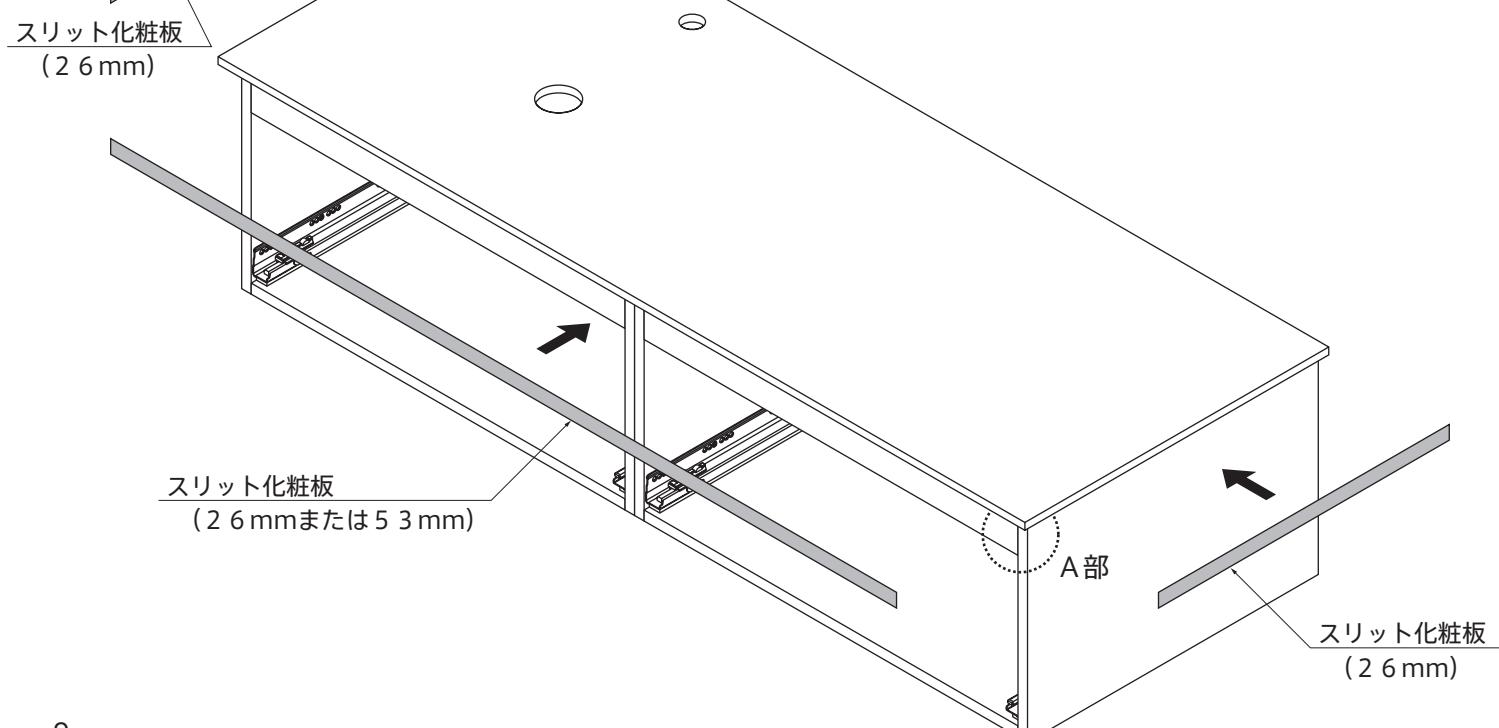
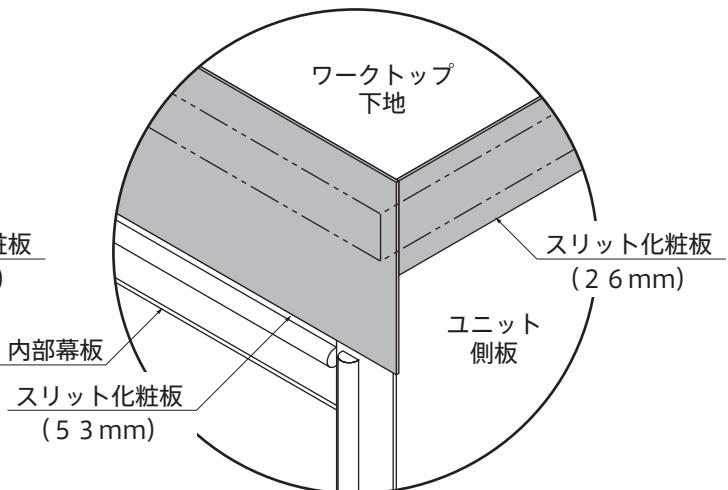
貼り付け後は、両面テープがしっかりと貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。

A部詳細図

【ハンドル付きの場合】



【ハンドルレスの場合】



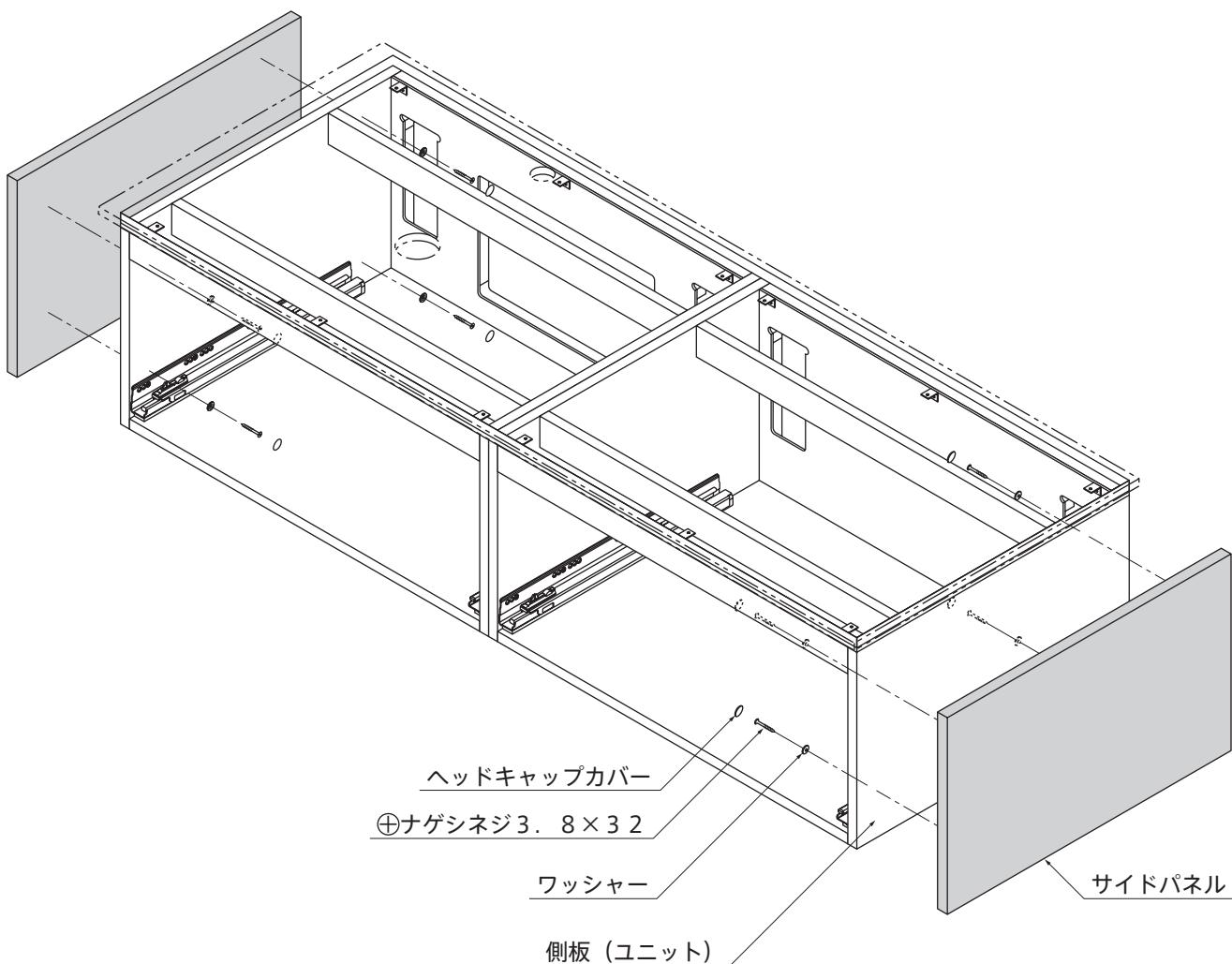
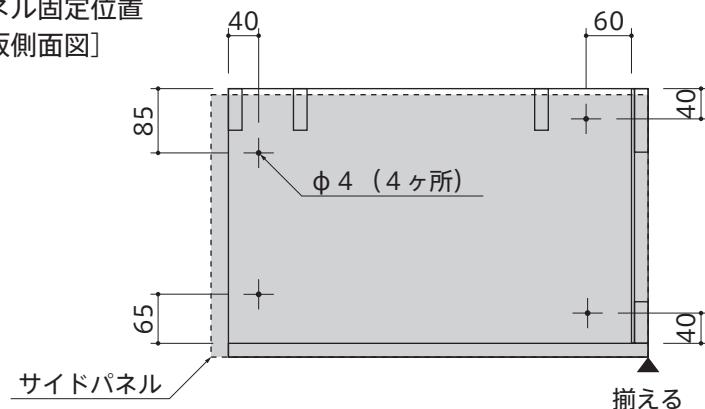
8 サイドパネルの取付け

- ユニット側板にサイドパネルを取付けます。

ユニット側板の指定位置にΦ4穴（4ヶ所）をあけます。

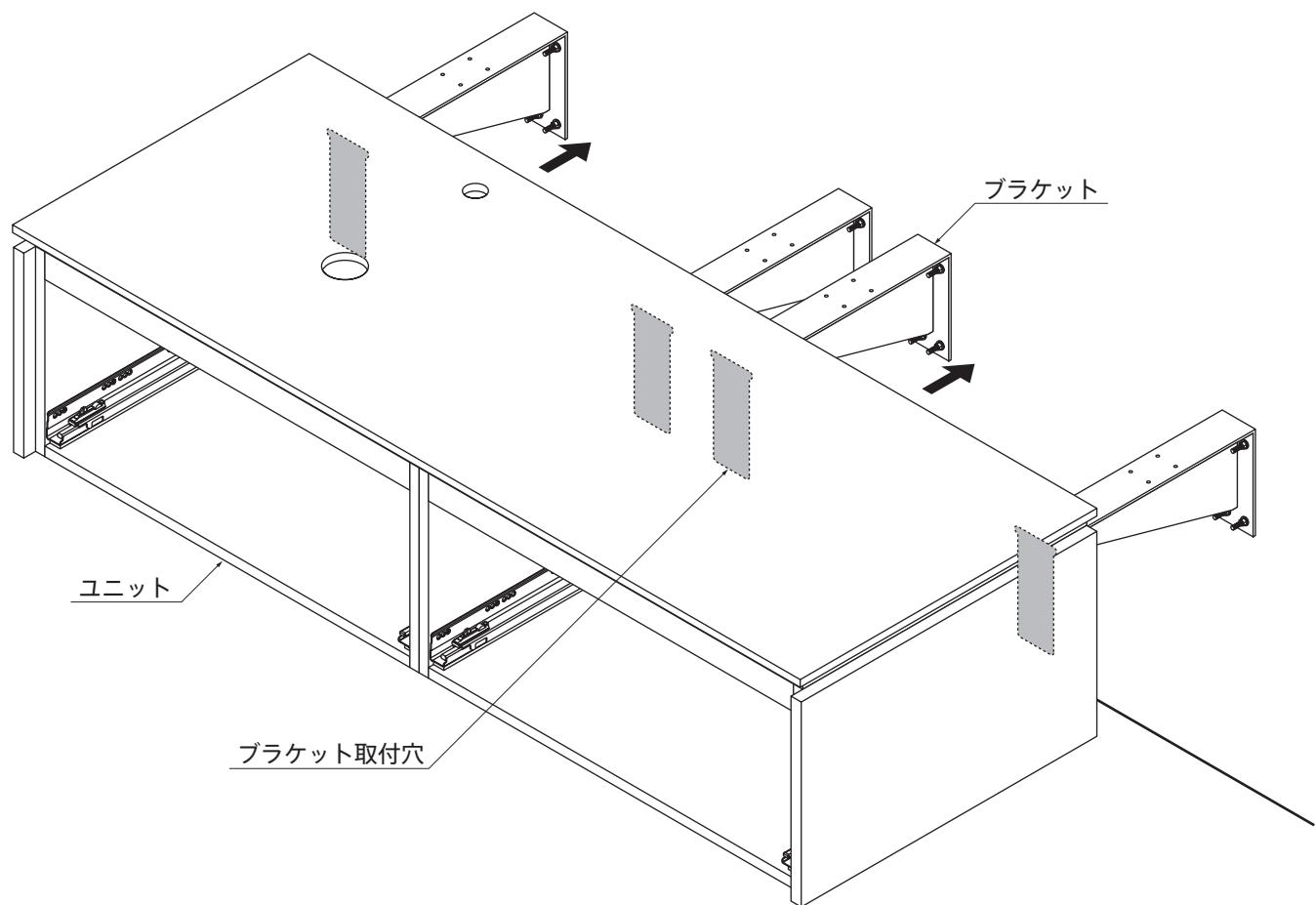
サイドパネルの背面下端に合わせて、 \oplus ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、サイドパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

■サイドパネル固定位置
[側板側面図]



9 ユニットの設置

- ユニット背面にあいているブラケット取付穴にブラケットを差し込みながら、ユニットを壁面にあたるまで押し込みます。

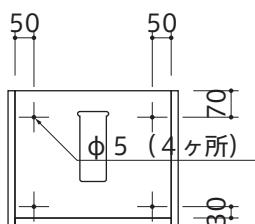


10 レベル調整、ユニットの壁面固定

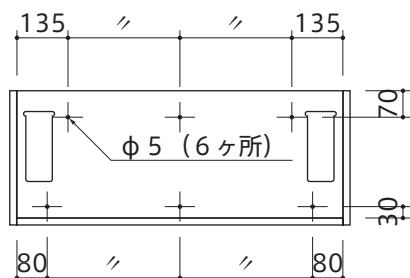
- ユニットとブラケットの間に緩衝材を入れるなどして、ユニットのレベルを調整します。
- ユニット内側より背板の指定位置にΦ5の下穴をあけ、 \oplus ナゲシネジ4. 2×60にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

■ユニット固定位置

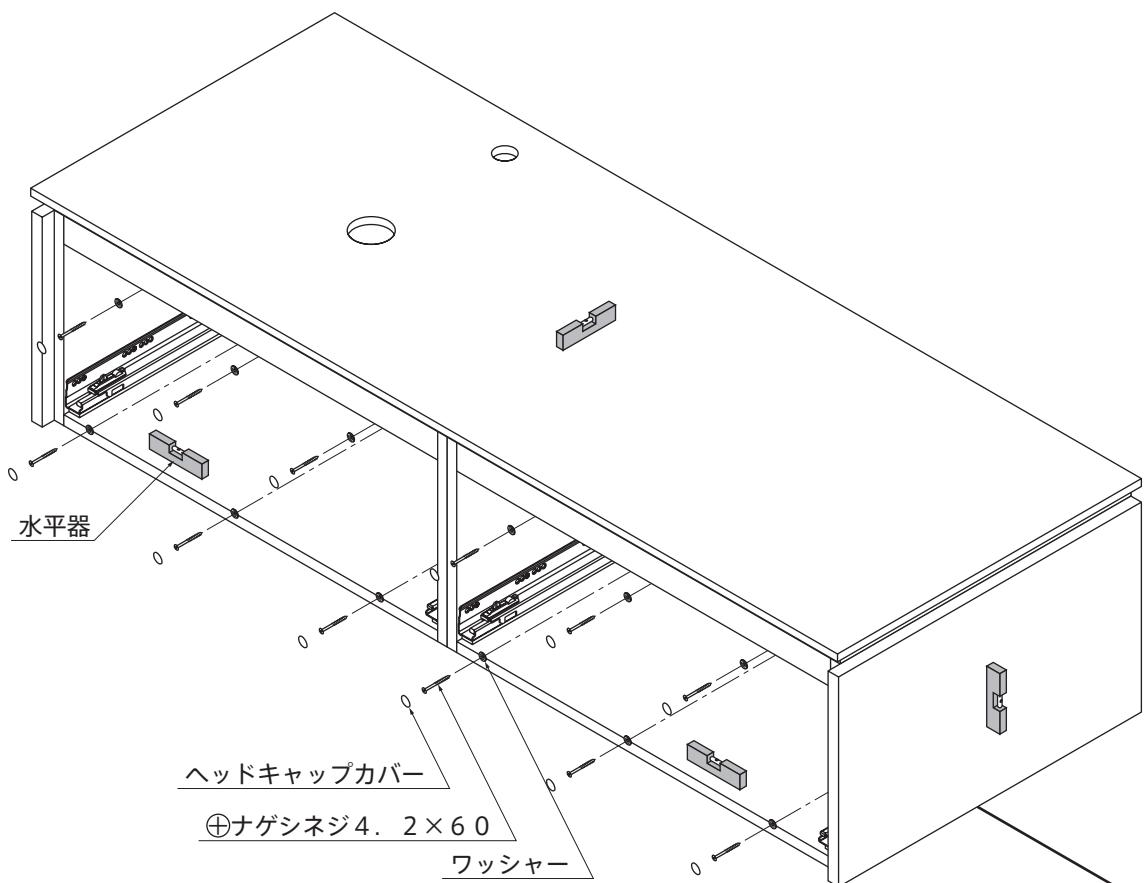
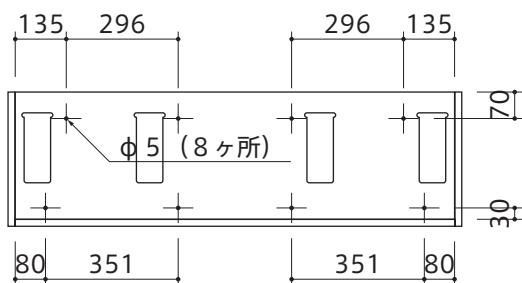
【間口450（300）の場合】



【間口900（750・600）の場合】



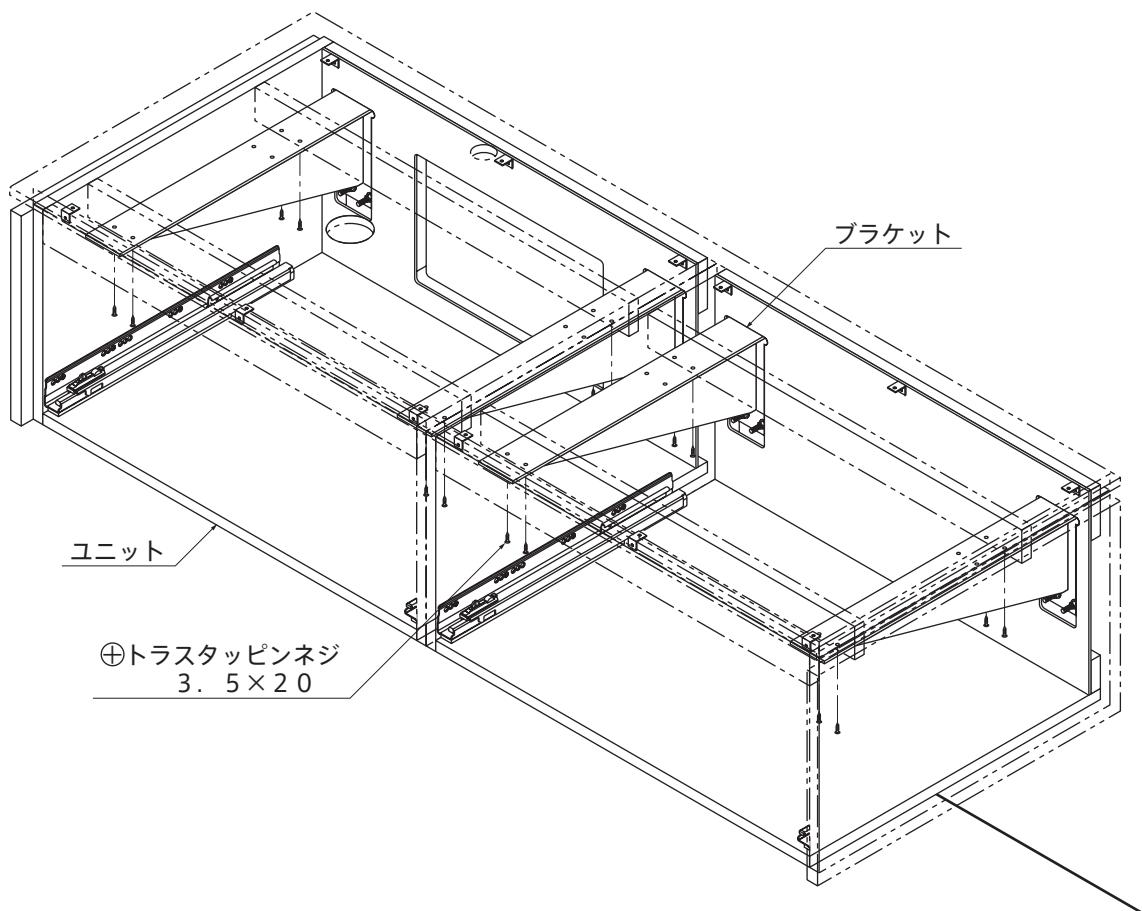
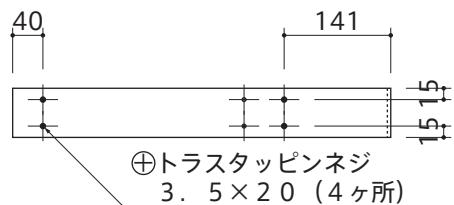
【間口1200の場合】



11 ユニットの固定

- ユニット内側より⊕トラスタッピンネジ 3.5×20 にて、ブラケットとユニット固定棟を固定します。

■ ブラケット固定位置



12 水栓の取付け（※水栓を取付ける場合）

- ワークトップにあいている水栓取付穴に水栓を設置します。

※付属の「取付・設置説明書」に従って取付けてください。

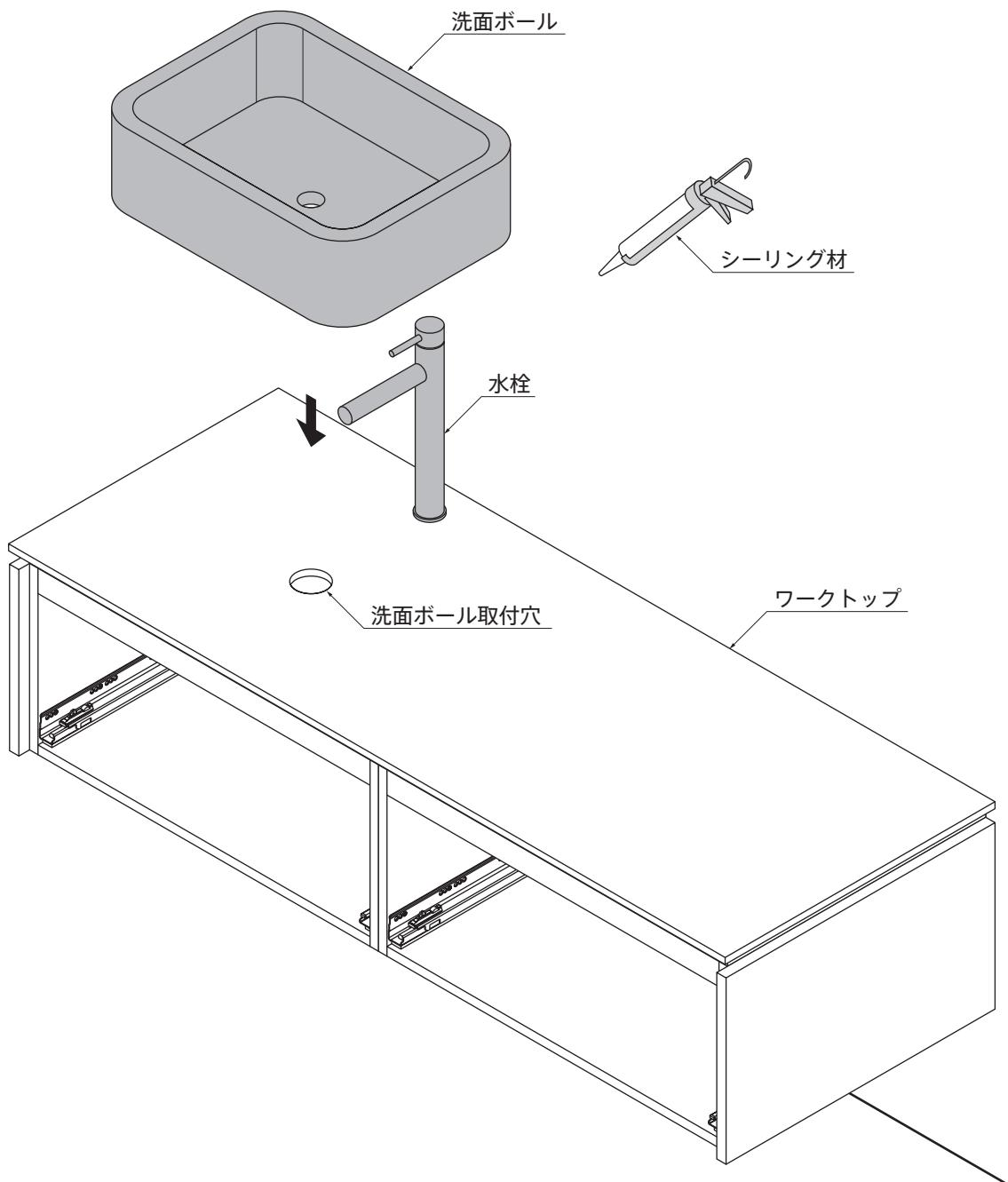
13 洗面ボールの取付け（※洗面ボールを取付ける場合）

- ワークトップにあいている洗面ボール取付穴に洗面ボールを設置します。

- 洗面ボールとワークトップの取付穴全周をシーリングします。

- 洗面ボールを取付け後、各配管を行います。

※洗面ボールによって、取付穴や配管方法は異なりますので、それぞれに従ってください。

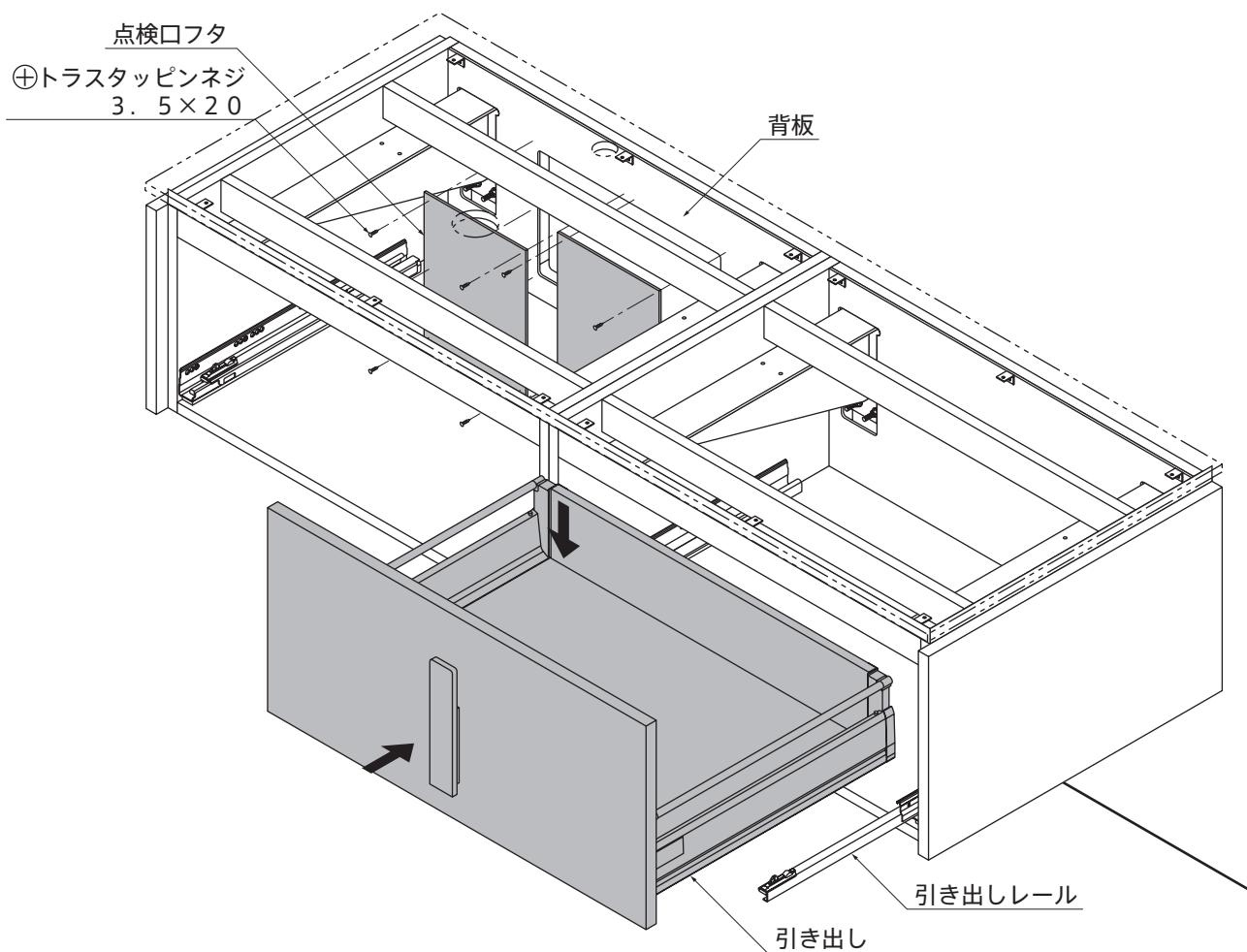


14 点検口フタの取付け（※ボウルユニットの場合）

- ユニット背板に先ほど取り外した点検口フタを取付けます。
④トラスタッピンネジ3.5×20（10本）を使用し、背板に点検口フタを取付けます。

15 引き出しの取付け

- 引き出しレールをいっぱいまで引き出します。
- 引き出しレールの上に引き出しをのせます。
- 引き出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引き出しレールに固定します。



取付・設置方法【ダブルドロワ A F type】

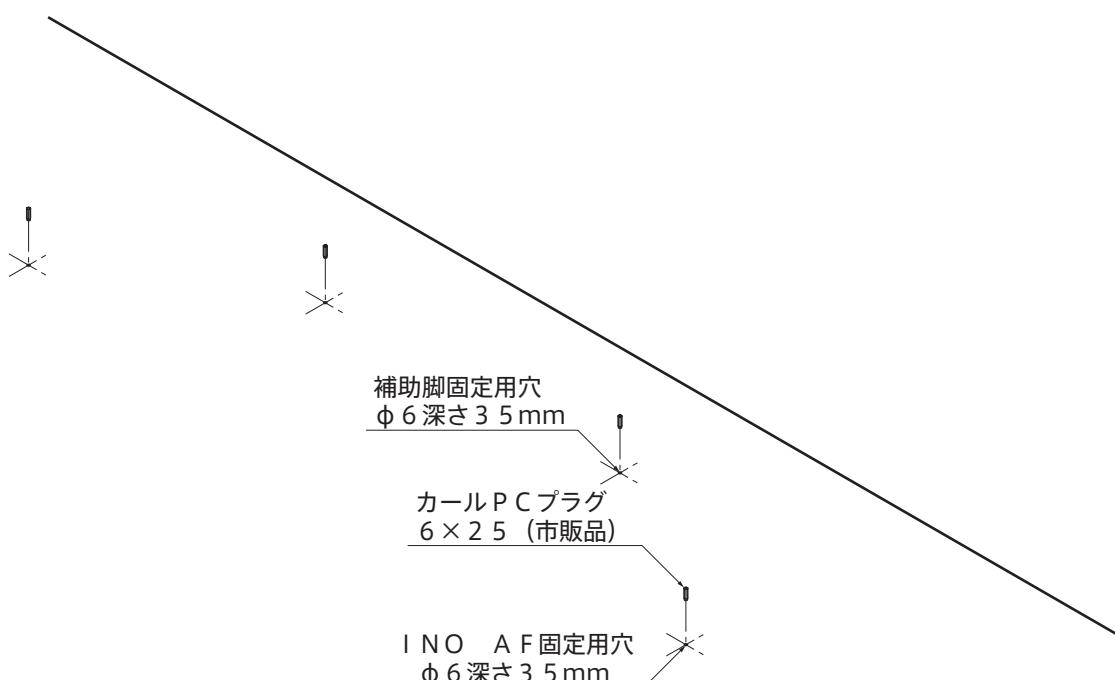
① 固定用穴あけ (※床固定にカールPCプラグを使用する場合)

※コンクリート床、石床の場合、INO AFを設置する前にカールPCプラグを取り付けます。

壁に接する側のINO AF取付位置にはカールPCプラグの取付けは不要です。

・INO AFと補助脚の設置位置に固定用穴Φ6深さ35mmをあけます。

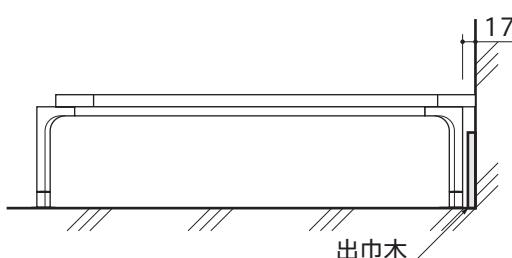
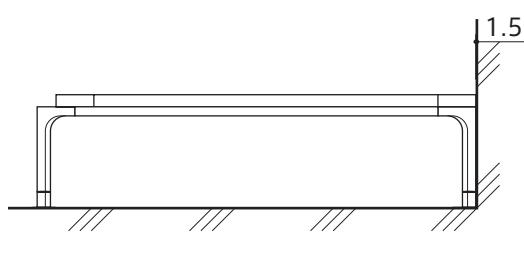
・固定用穴にカールPCプラグ6×25(市販品)を打ち込みます。



〔側面図〕

【背面の壁に出巾木がない場合】

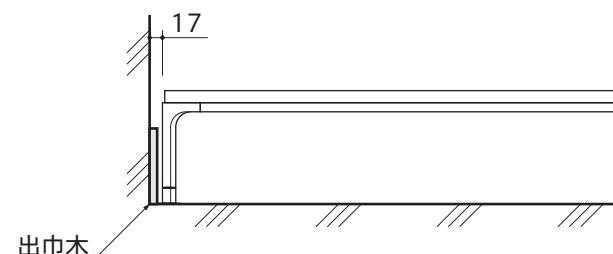
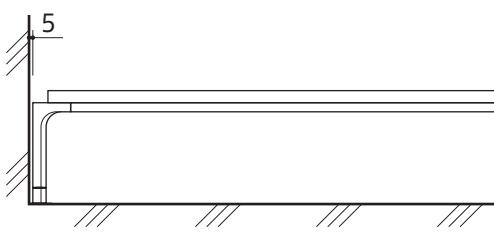
【背面の壁に出巾木がある場合】



〔正面図〕 (※INO AF側面が壁に隣接する場合)

【側面の壁に出巾木がない場合】

【側面の壁に出巾木がある場合】



2 転倒防止部品の取付け

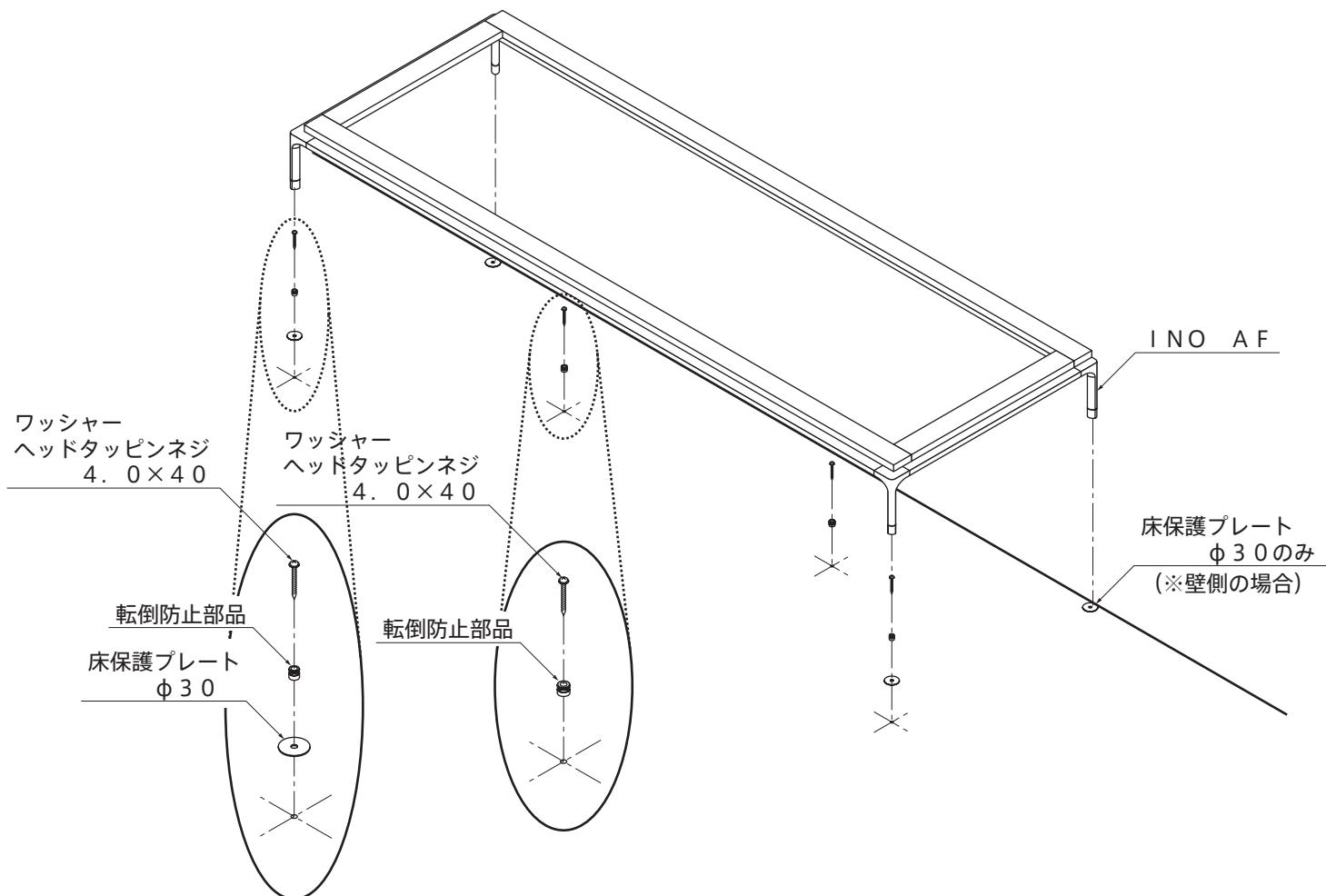
- INO AFの設置位置に、床保護プレートΦ30を置き、その上から付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にて転倒防止部品を床面に固定します。
- 補助脚の設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にて転倒防止部品を床面に固定します。

※コンクリート床、石床の場合、床面にあけた固定用穴の位置に合わせて取付けます。

壁に接する側は転倒防止部品を取付けず、床保護プレートΦ30のみ置きます。

3 INO AFの設置

- INO AFを転倒防止部品に差し込みながら床面に設置します。

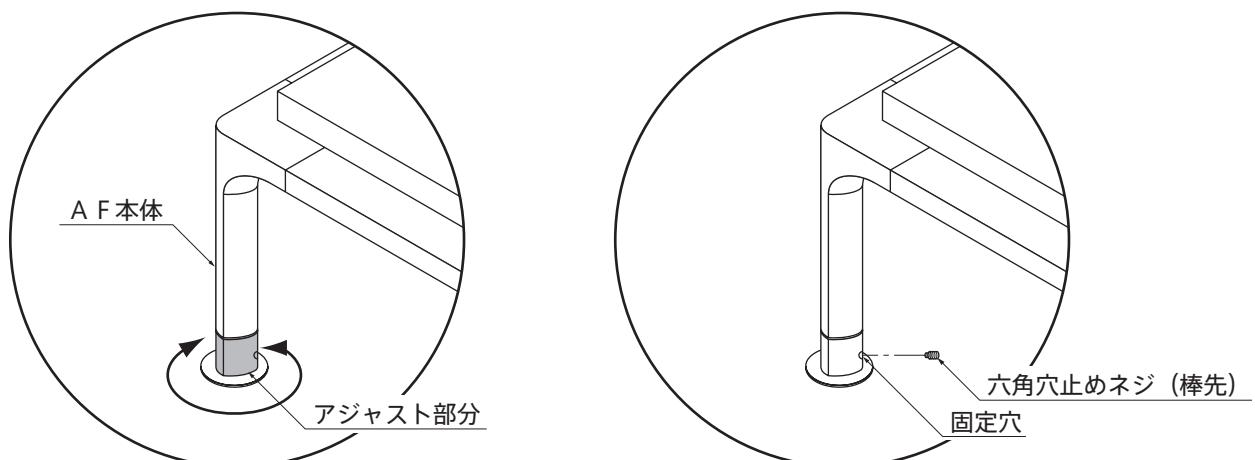
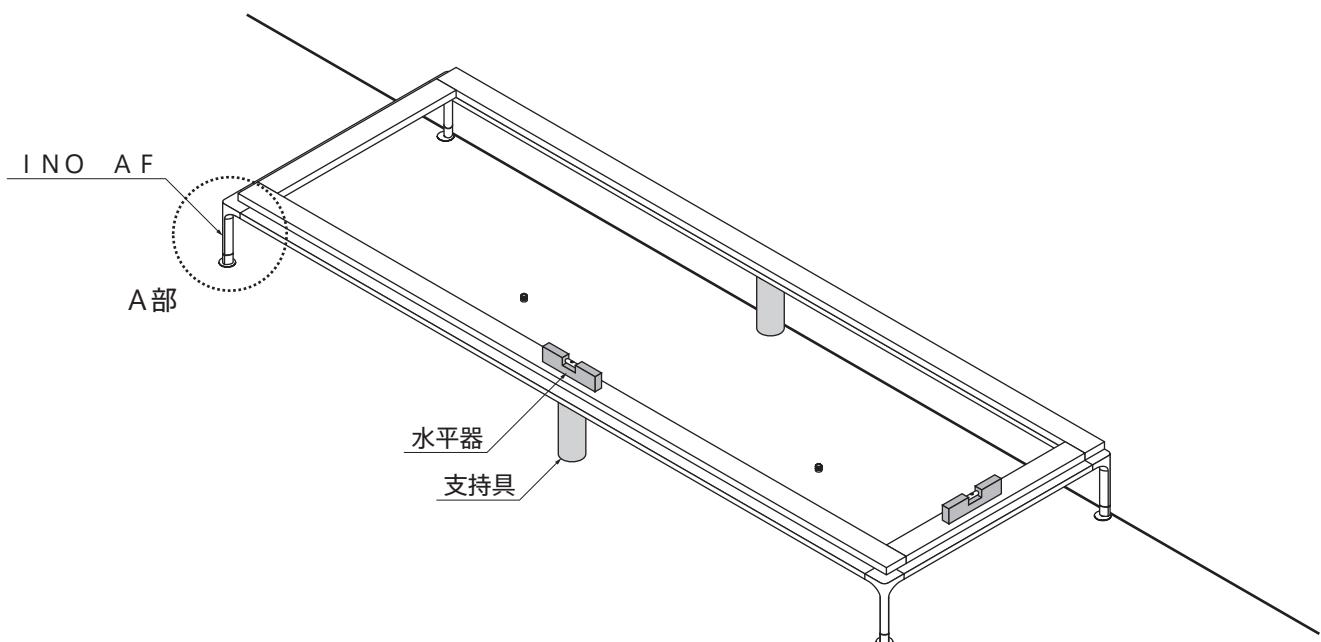


4 支持具の設置

- ・取付・設置の際に、ベースフレームがたるまないように、支持具で支えます。
- 支持具はベースフレーム下で支え、750mmピッチ以下になるように設置します。
- ※支持具は、取付・設置が全て終了したら取り外します。

5 レベル調整、INO AFの固定

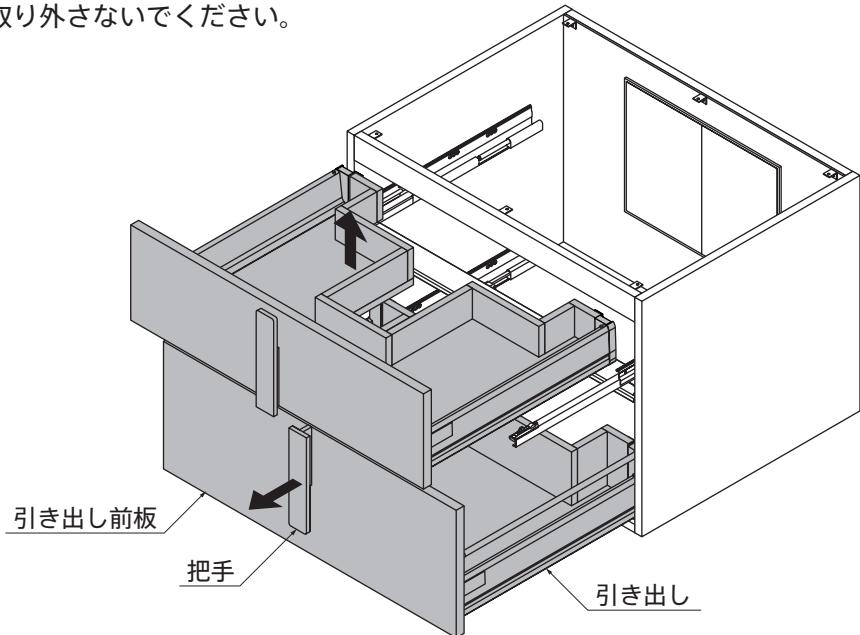
- ・INO AFのアジャスト部分を回して、レベルを調整します。
■調整範囲 -0~+10mm
- ※AF本体とアジャスト部分の形状が揃うように調整します。
- ・前側のINO AFのアジャスト部分の固定穴から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。



6 引き出しの取り外し

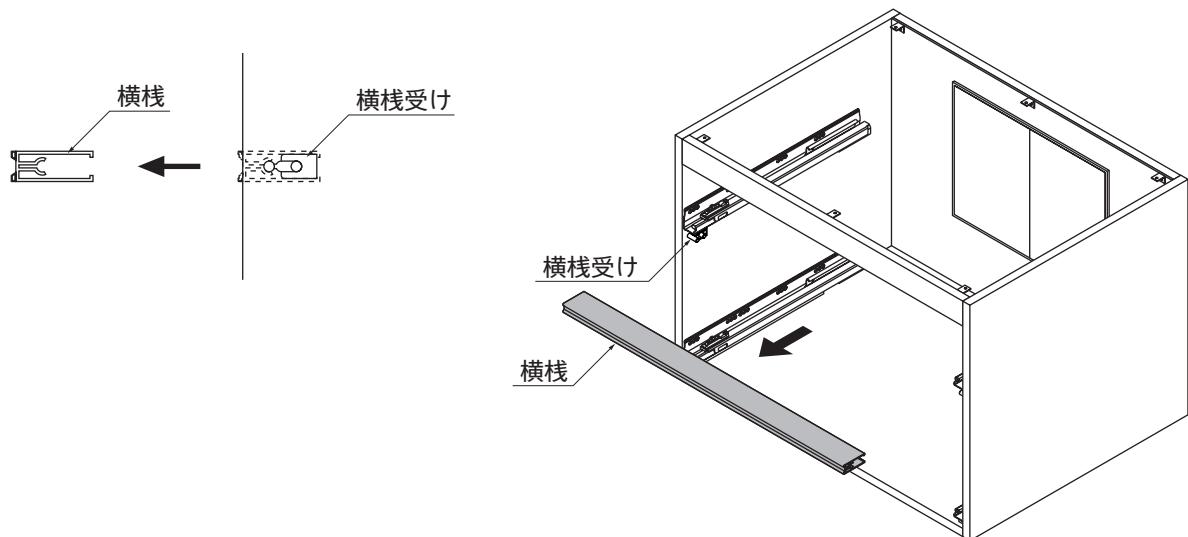
- ・引き出しを取り外します。
- 引き出しをいっぶいまで引き出します。
- 引き出しを持ち上げて取り外します。

※把手や引き出し前板を持って取り外さないでください。



7 横桿の取り外し（※引き出し2段タイプの場合）

- ・横桿受けから横桿を引き抜いて取り外します。

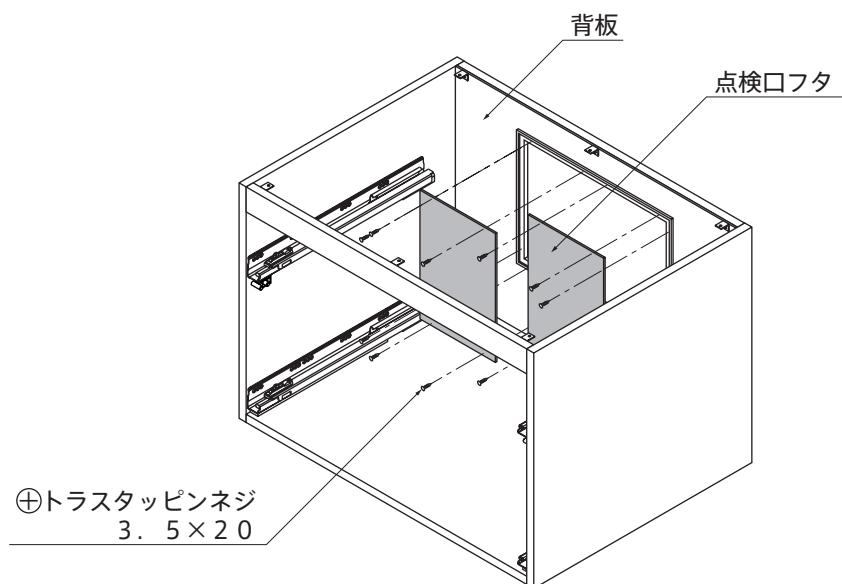


8 点検口フタの取り外し（※ボウルユニットの場合）

- ユニット背面から点検口フタを取り外します。

点検口フタを固定している \oplus トラスタッピンネジ3. 5×20（12本）を外します。

※取り外した点検口フタとネジはユニットを壁面に固定後、再び使用しますのでなくさないようにしてください。

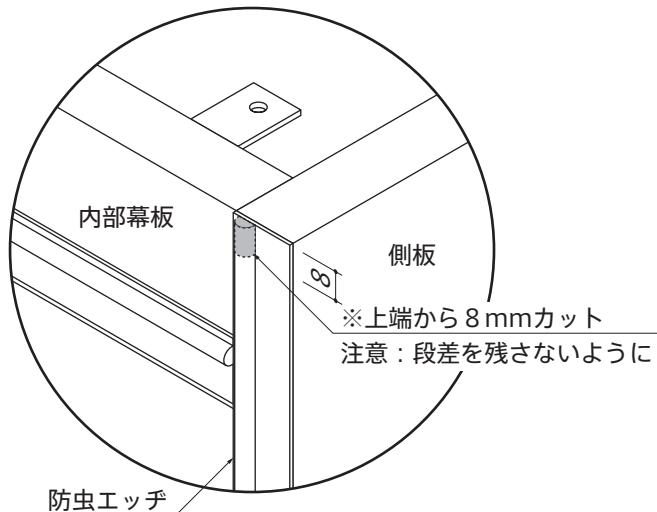


9 防虫エッチの加工

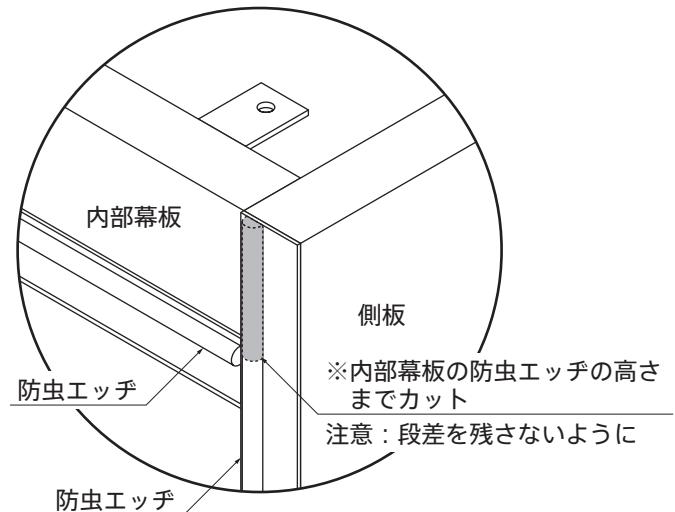
- ユニット側板上部の防虫エッチをカットします。
ハンドル付きの場合は、側板上部の防虫エッチを上端から8mmの位置までカットします。
ハンドルレスの場合は、側板上部の防虫エッチを内部幕板の防虫エッチの高さまでカットします。
- ユニット側板下部の防虫エッチをカットします。
側板下部の防虫エッチを底板の防虫エッチの高さまでカットします。
※カットした部分にスリット化粧板を貼るため、段差を残さないようにきれいに仕上げてください。

A部詳細図

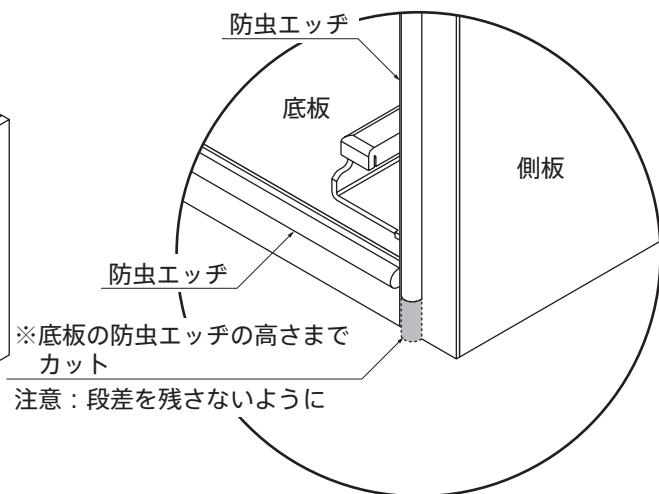
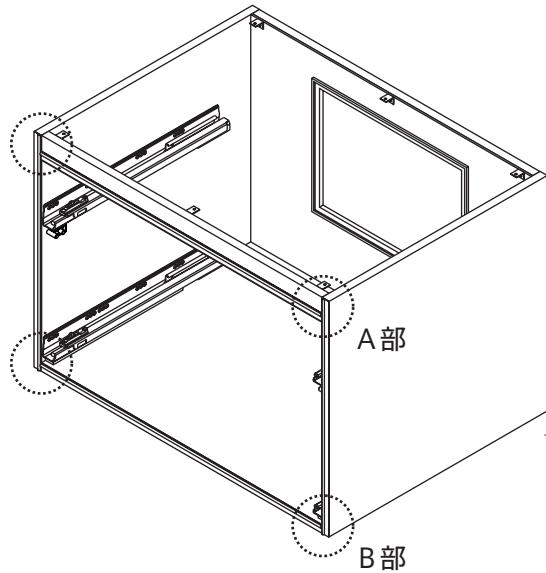
【ハンドル付きの場合】



【ハンドルレスの場合】

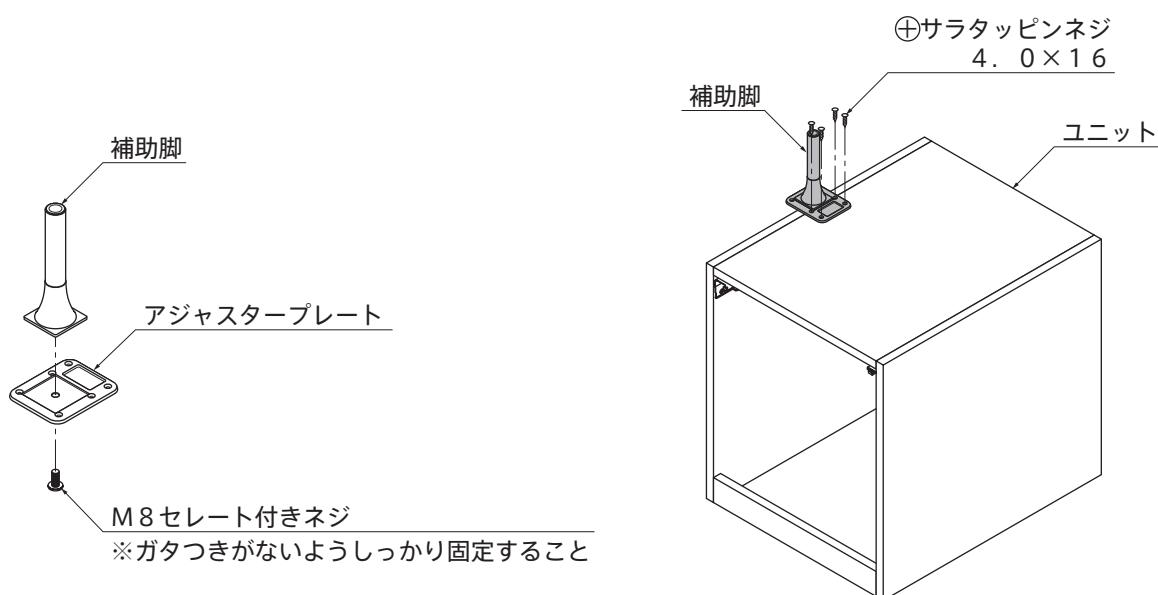


B部詳細図

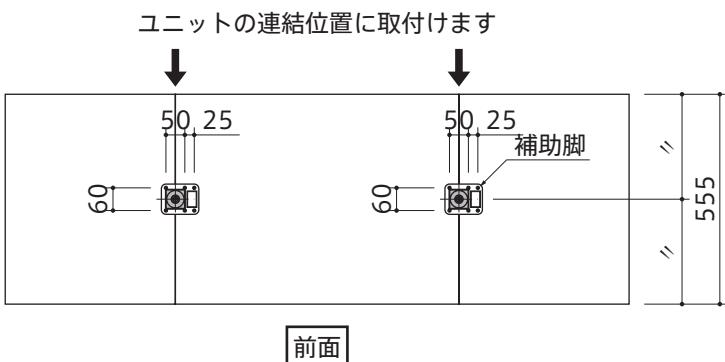


10 補助脚の取付け（※ユニットを連結する場合）

- ・M 8 セレート付きネジを使用し、アジャスター プレートに補助脚を取付けます。
- ・ユニットを連結する場合、ユニット裏面の指定位置（「補助脚取付位置」を参照）に補助脚を取付けます。
アジャスター プレートの取付穴から、 \oplus サラタッピンネジ 4.0×16 にて固定します。

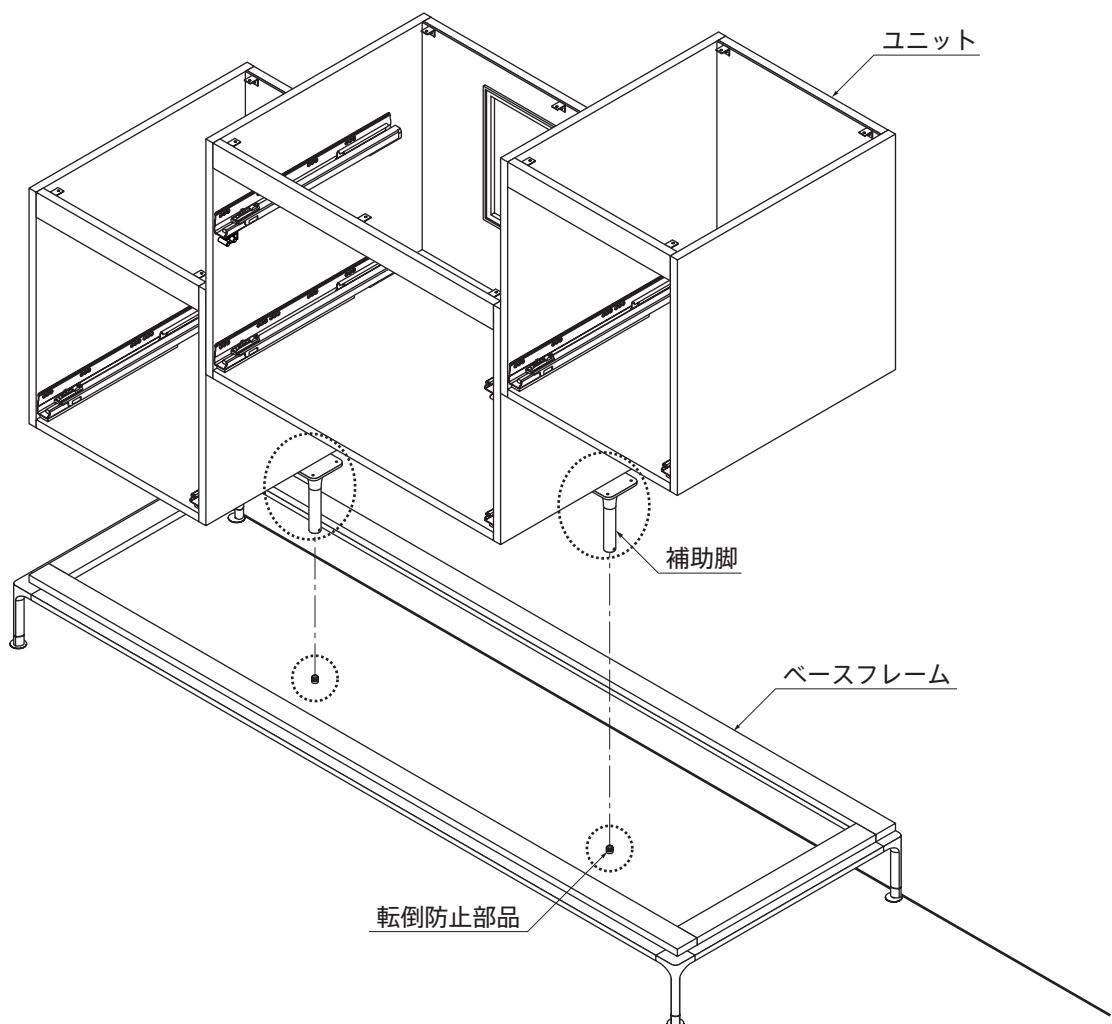


■補助脚取付位置 [平面図]



11 ユニットの設置

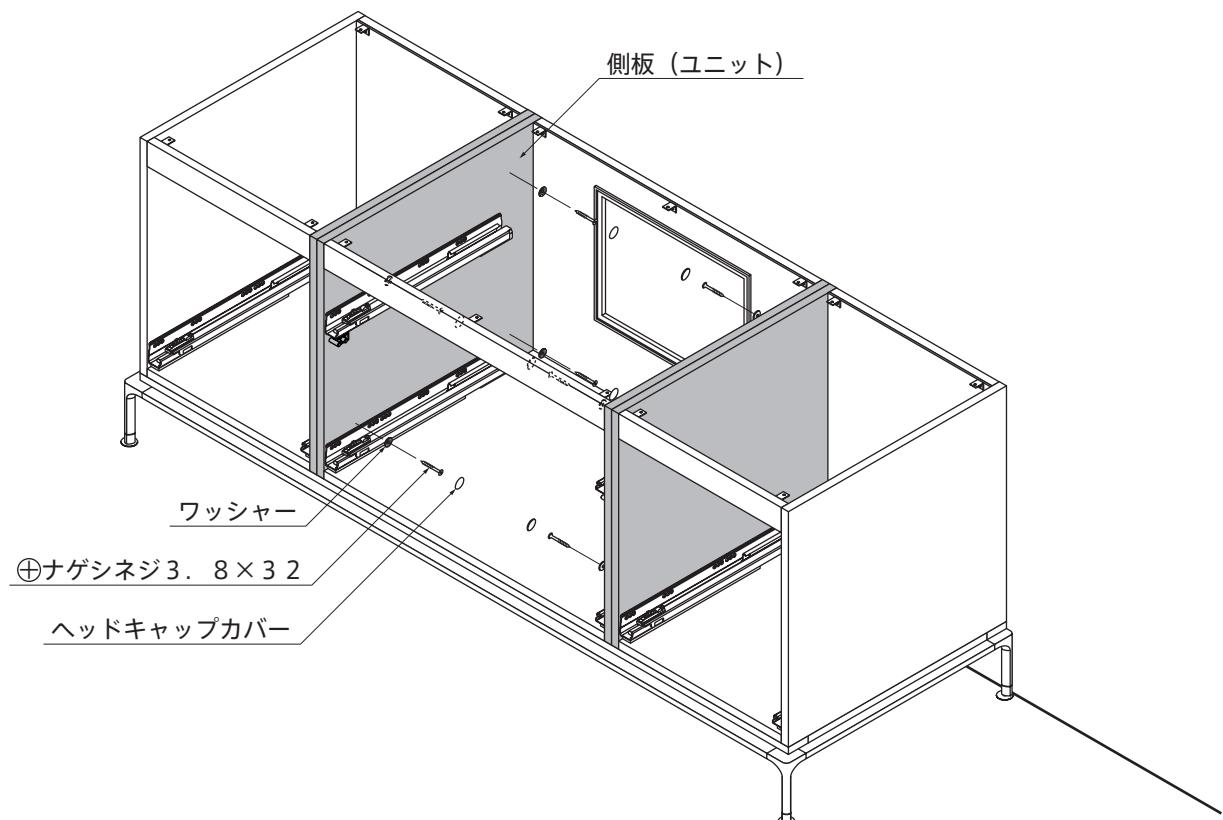
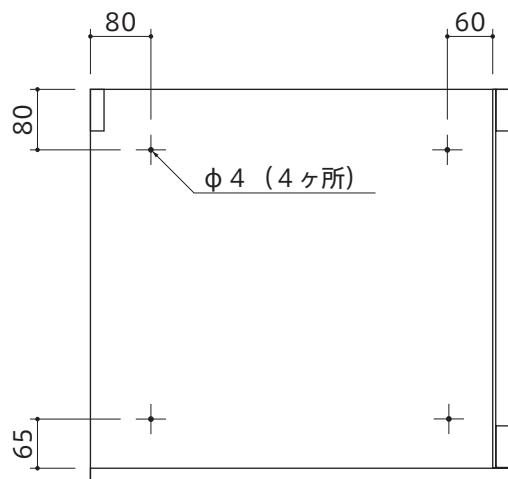
- ・ベースフレームの上にユニットを設置します。
- ・ユニットを連結する場合、補助脚を転倒防止部品に差し込みながら設置します。



12 ユニットの連結（※ユニットを連結する場合）

- ユニットの側板外面を合わせて、ユニット同士を連結します。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（4ヶ所）をあけます。
- ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

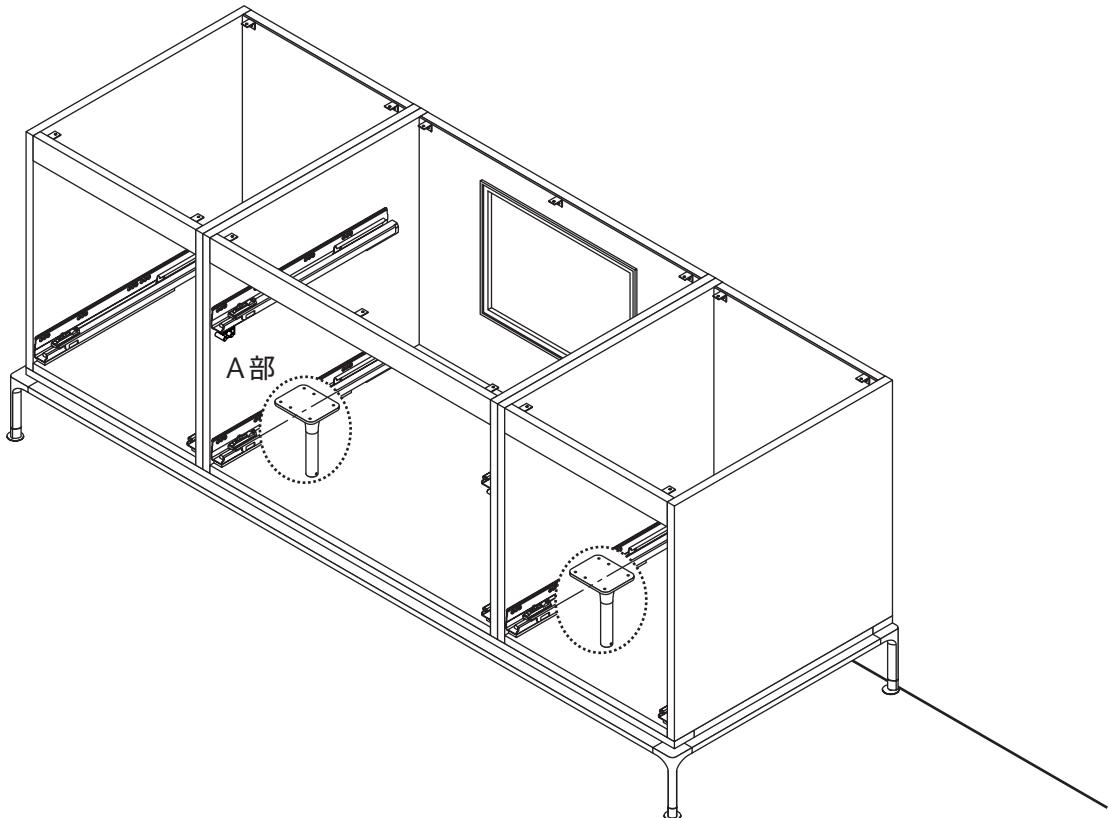
■ユニット連結位置
[側板側面図]



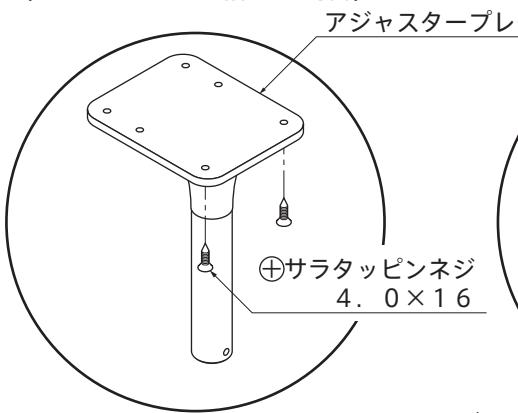
13 補助脚のレベル調整・固定

(※ユニットを連結する場合)

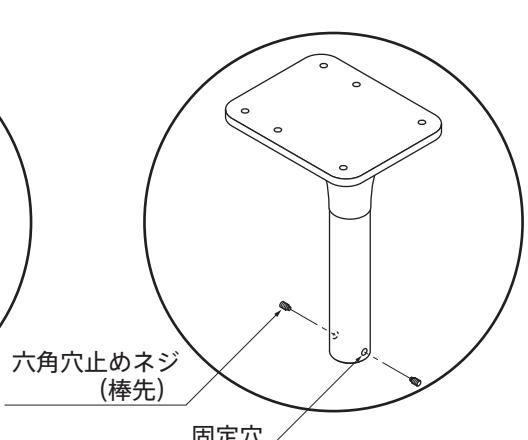
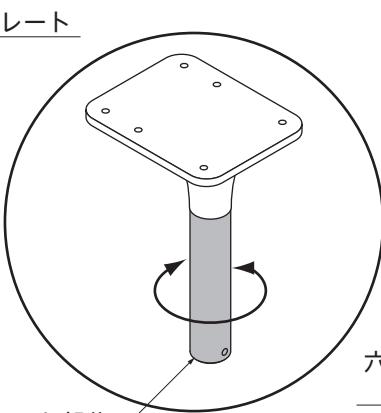
- ユニットを連結する場合、補助脚のアジャスター プレートの残りの穴から \oplus サラタッピンネジ 4.0 × 16 (2本) にて固定します。
- 補助脚のアジャスト部分を回して、レベルを調整します。
■調整範囲 -0 ~ +10 mm
- 補助脚の固定穴 (2ヶ所) から六角穴止めネジ (棒先) にて固定します。



A部 ネジ固定
(※ユニットを連結する場合)



A部 レベル調整

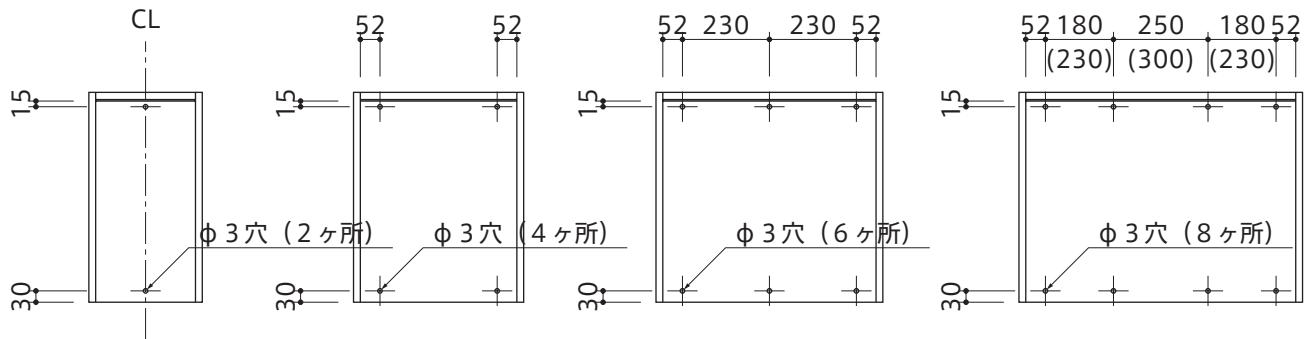


14 ユニットの固定

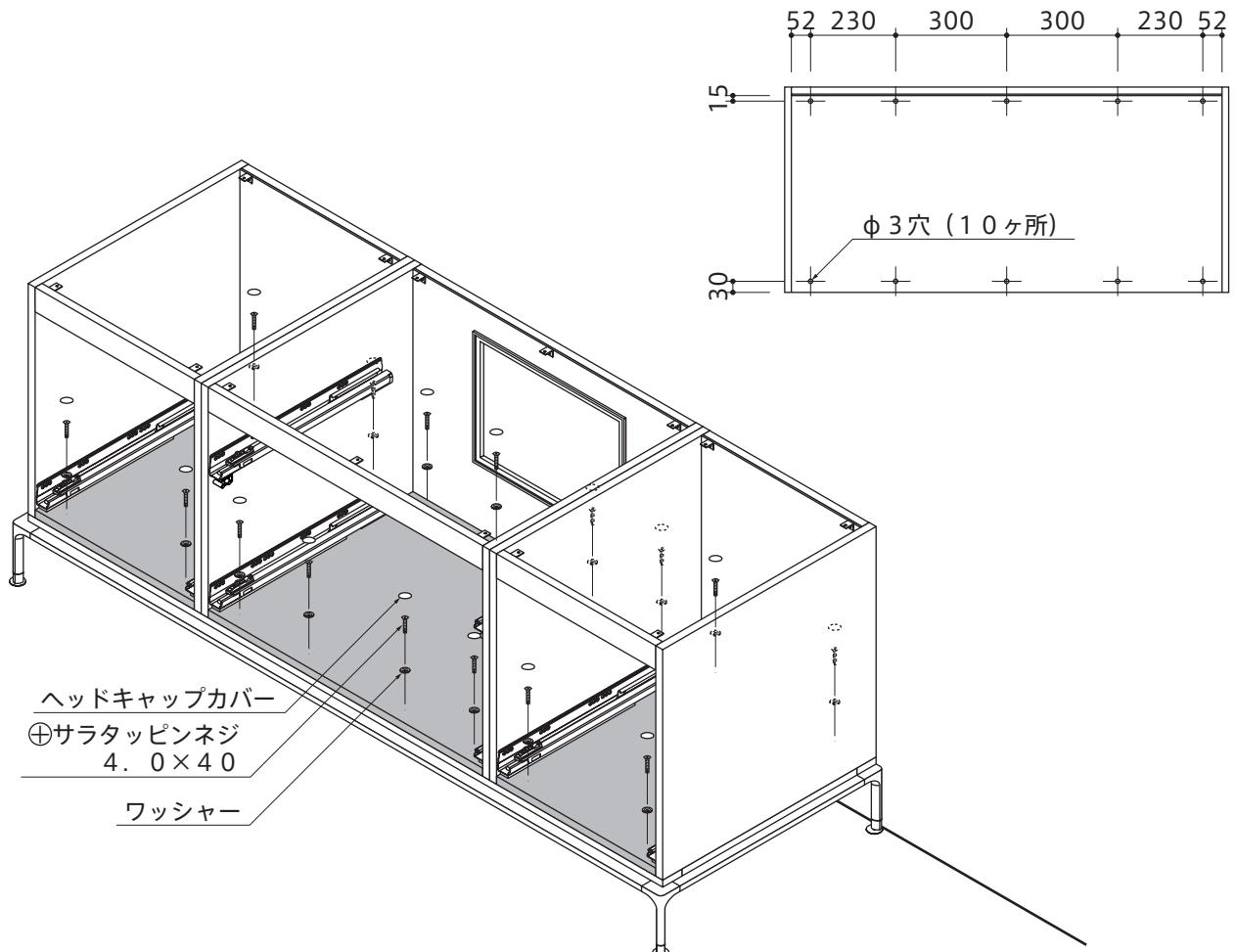
- ベースフレームの角パイプ前面コーナーとユニット前面コーナーを合わせて、ユニットを固定します。
- ユニット底板の指定位置にΦ3穴（6ヶ所）をあけます。
- ④サラタッピンネジ4.0×40にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

■ユニット固定位置 [平面図]

【間口300の場合】 【間口450の場合】 【間口600の場合】 【間口750（900）の場合】

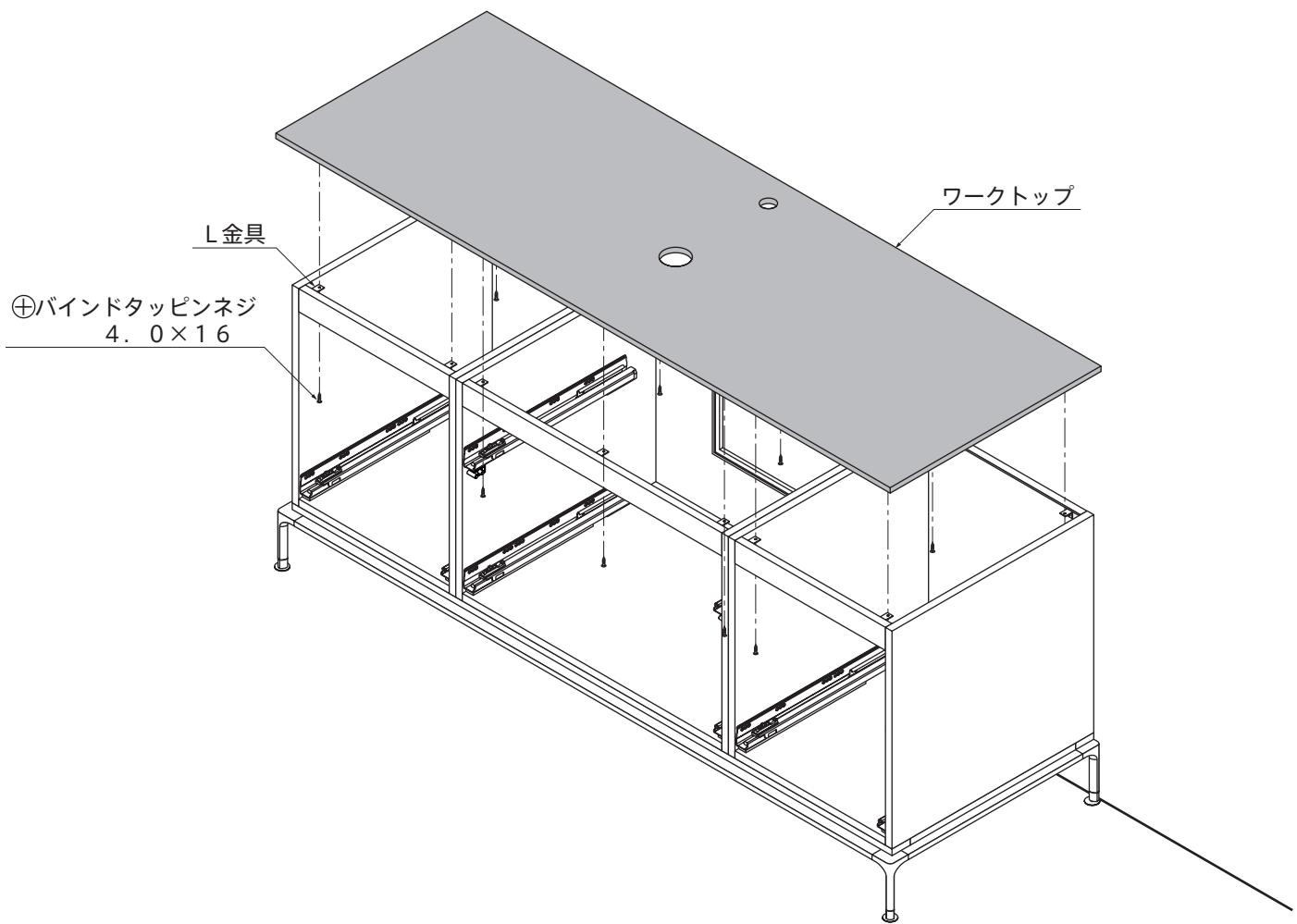


【間口1200の場合】



15 ワークトップの取付け

- ユニットの上にワークトップをのせ、背面を壁につけます。
- ユニットに取付けてあるL金具から \oplus バインドタッピンネジ 4. 0 × 16 にてワークトップを固定します。



16 スリット化粧板の取付け

- ・スリット化粧板（26mm）をユニット奥行に合わせてカットします。
- ・スリット化粧板（26mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、ワークトップ下地の側面上端に合わせて貼り付けます。
- ・スリット化粧板（ハンドル付きの場合26mm、ハンドルレスの場合53mm）をユニット全体間口と両側のスリット化粧板の厚みを合わせたサイズにカットします。
- ・スリット化粧板（26mmまたは53mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、ワークトップ下地の前面上端に合わせて貼り付けます。

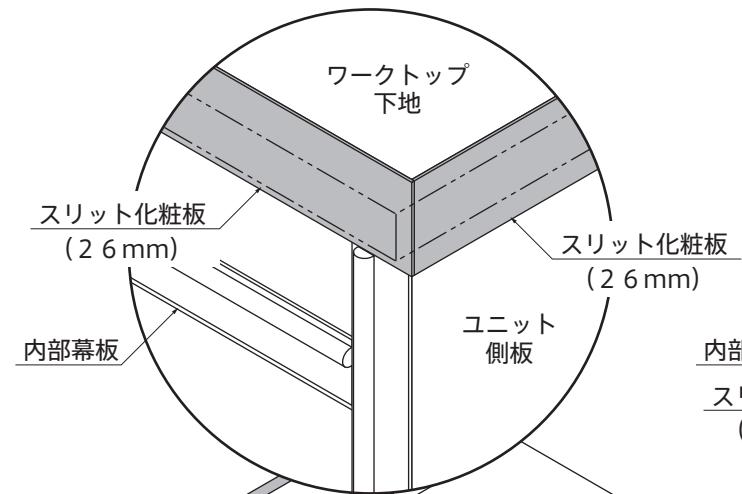
※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。

※一度貼ったら剥がしにくいため、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。

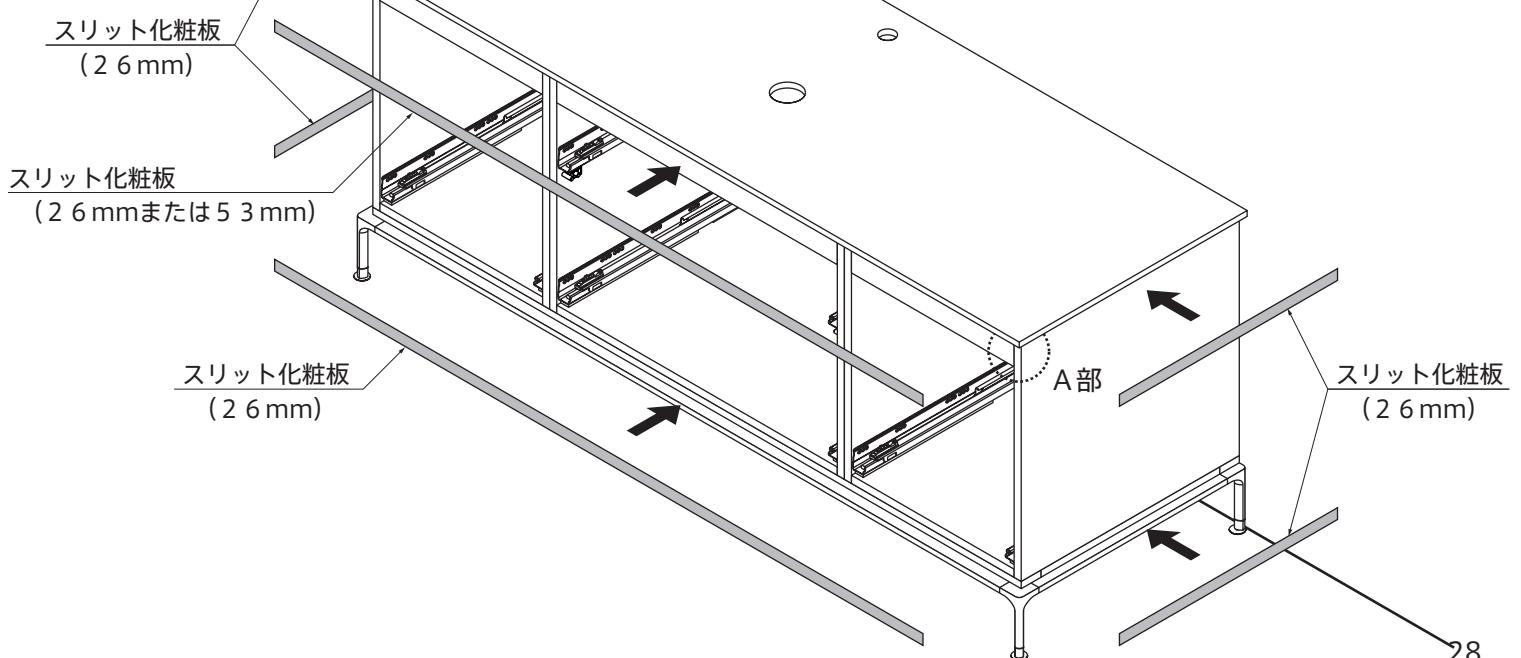
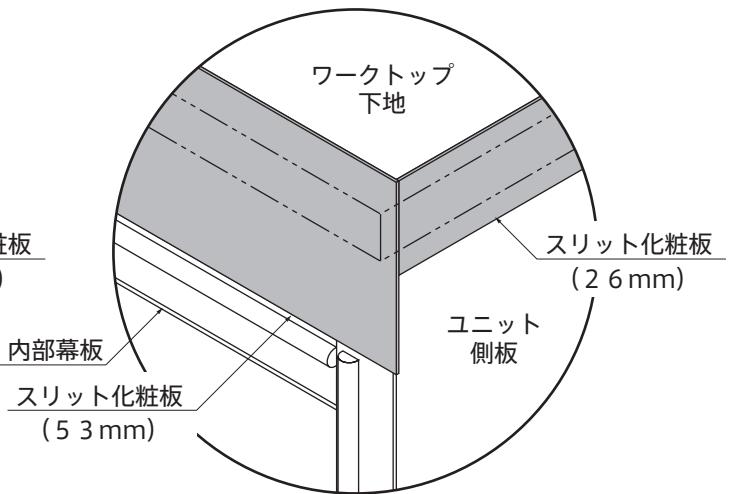
貼り付け後は、両面テープがしっかりと貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。

A部詳細図

【ハンドル付きの場合】



【ハンドルレスの場合】



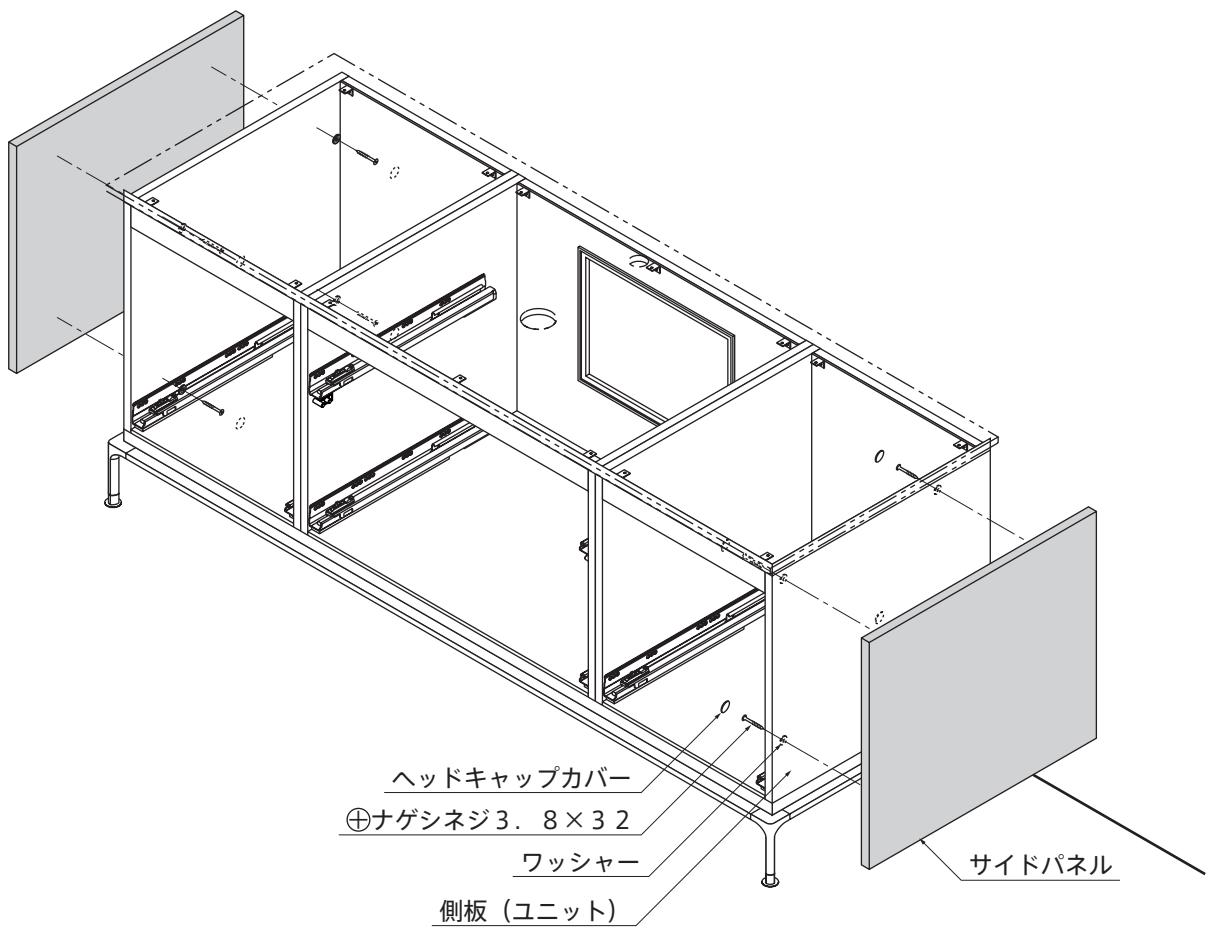
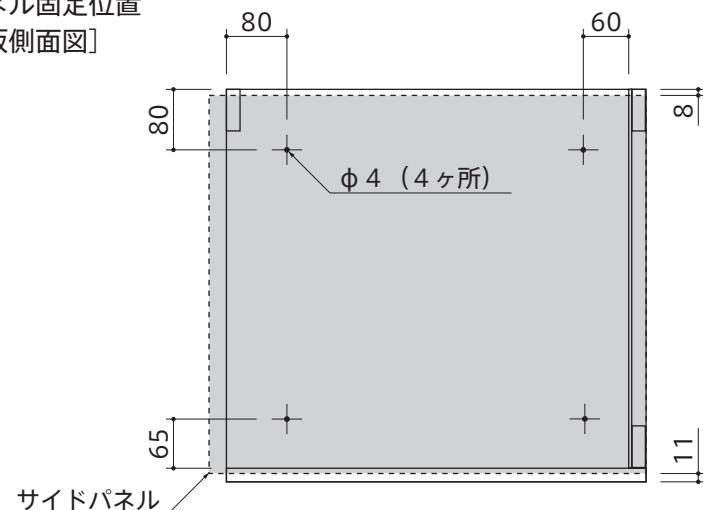
17 サイドパネルの取付け

- ユニット側板にサイドパネルを取付けます。

ユニット側板の指定位置にΦ4穴（4ヶ所）をあけます。

サイドパネルの背面下端に合わせて、 \oplus ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、サイドパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

■サイドパネル固定位置
[側板側面図]

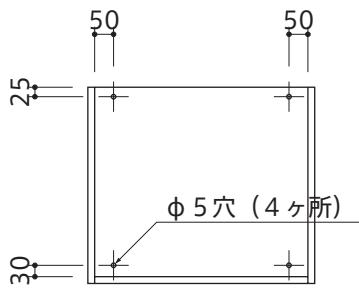


18 ユニットの壁面固定

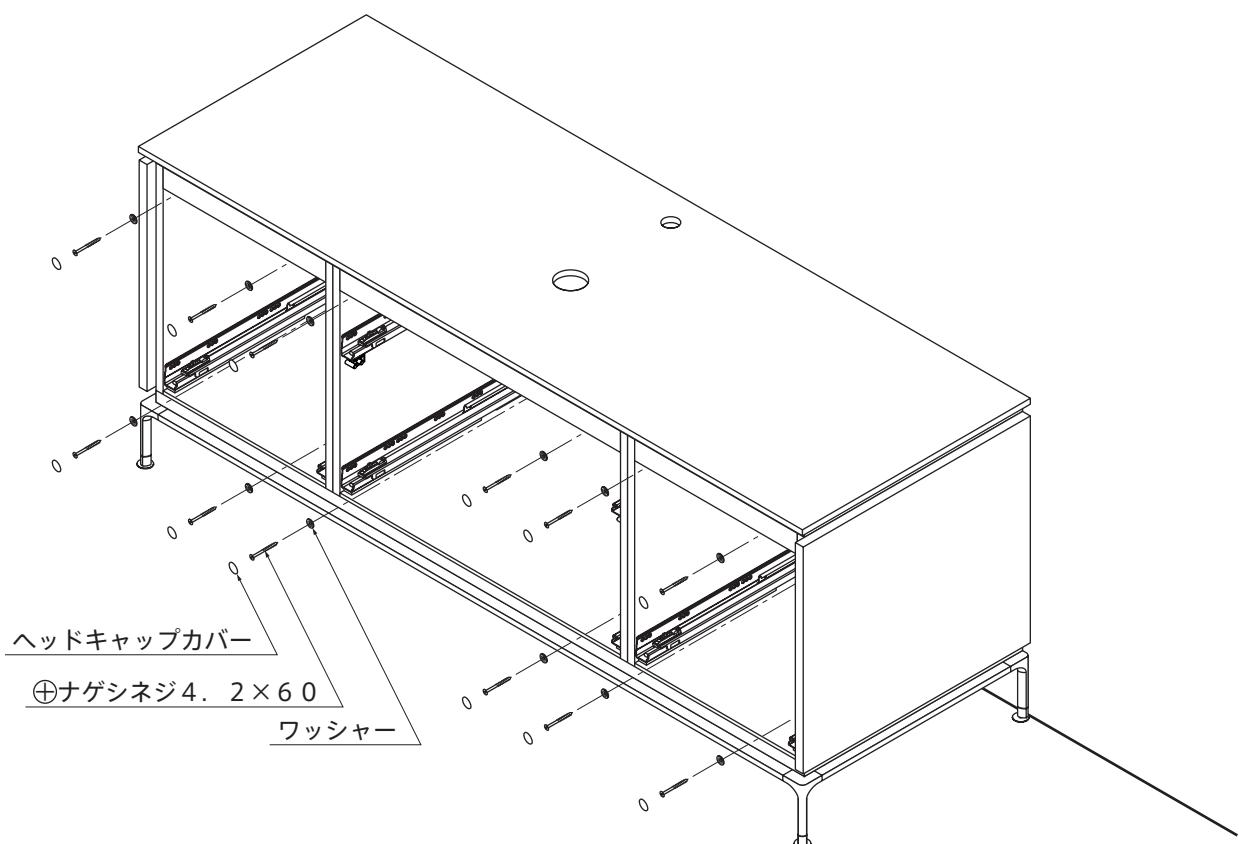
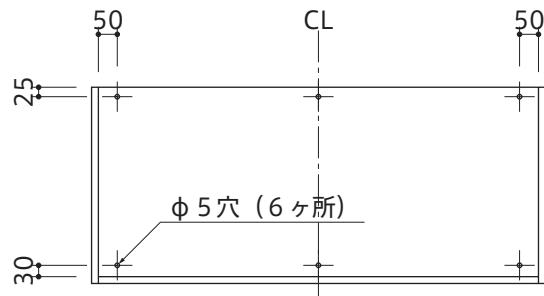
- ユニット内側より背板の指定位置にΦ5の下穴をあけ、 \oplus ナゲシネジ4. 2×60にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

■ユニット固定位置 [平面図]

【間口300～900の場合】



【間口1200の場合】



19 水栓の取付け（※水栓を取付ける場合）

- ワークトップにあいている水栓取付穴に水栓を設置します。

※付属の「取付・設置説明書」に従って取付けてください。

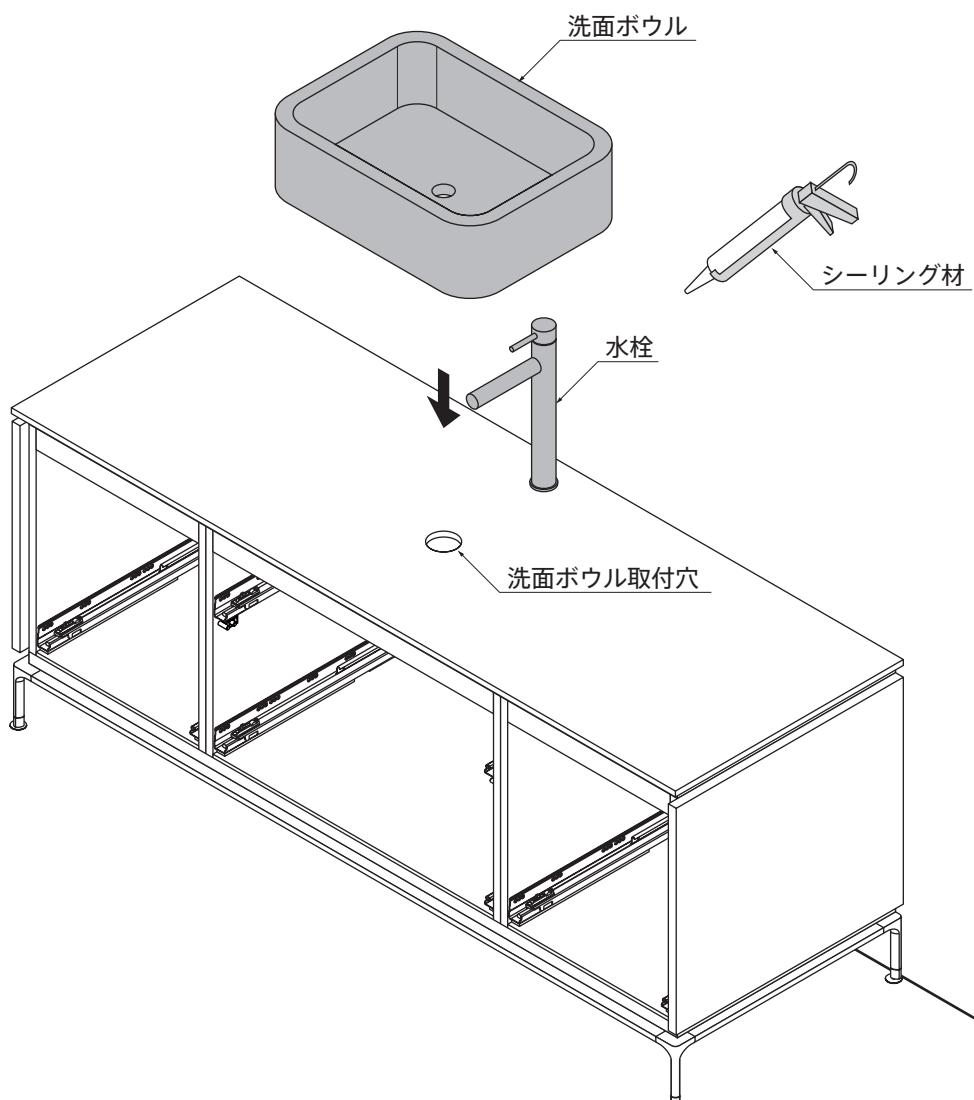
20 洗面ボウルの取付け（※洗面ボウルを取付ける場合）

- ワークトップにあいている洗面ボウル取付穴に洗面ボウルを設置します。

・洗面ボウルとワークトップの取付穴全周をシーリングします。

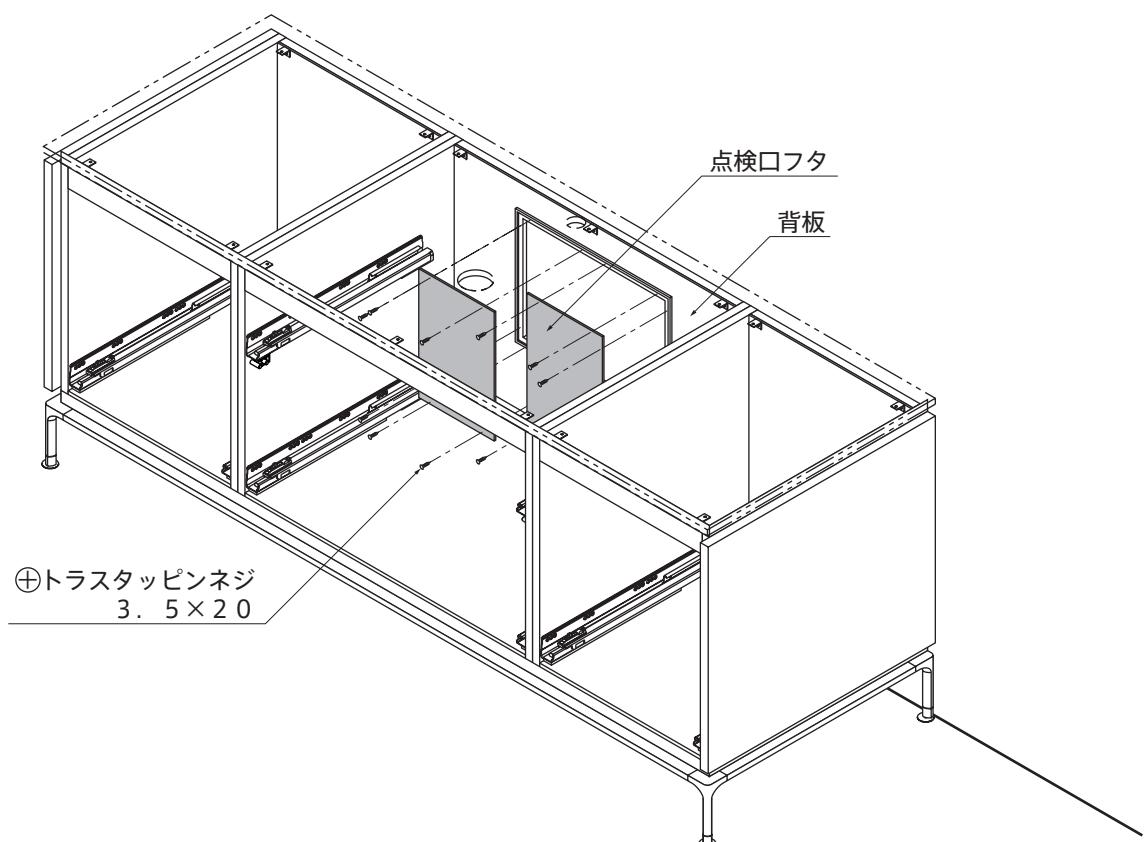
・洗面ボウルを取付け後、各配管を行います。

※洗面ボウルによって、取付穴や配管方法は異なりますので、それぞれに従ってください。



21 点検口フタの取付け（※ボウルユニットの場合）

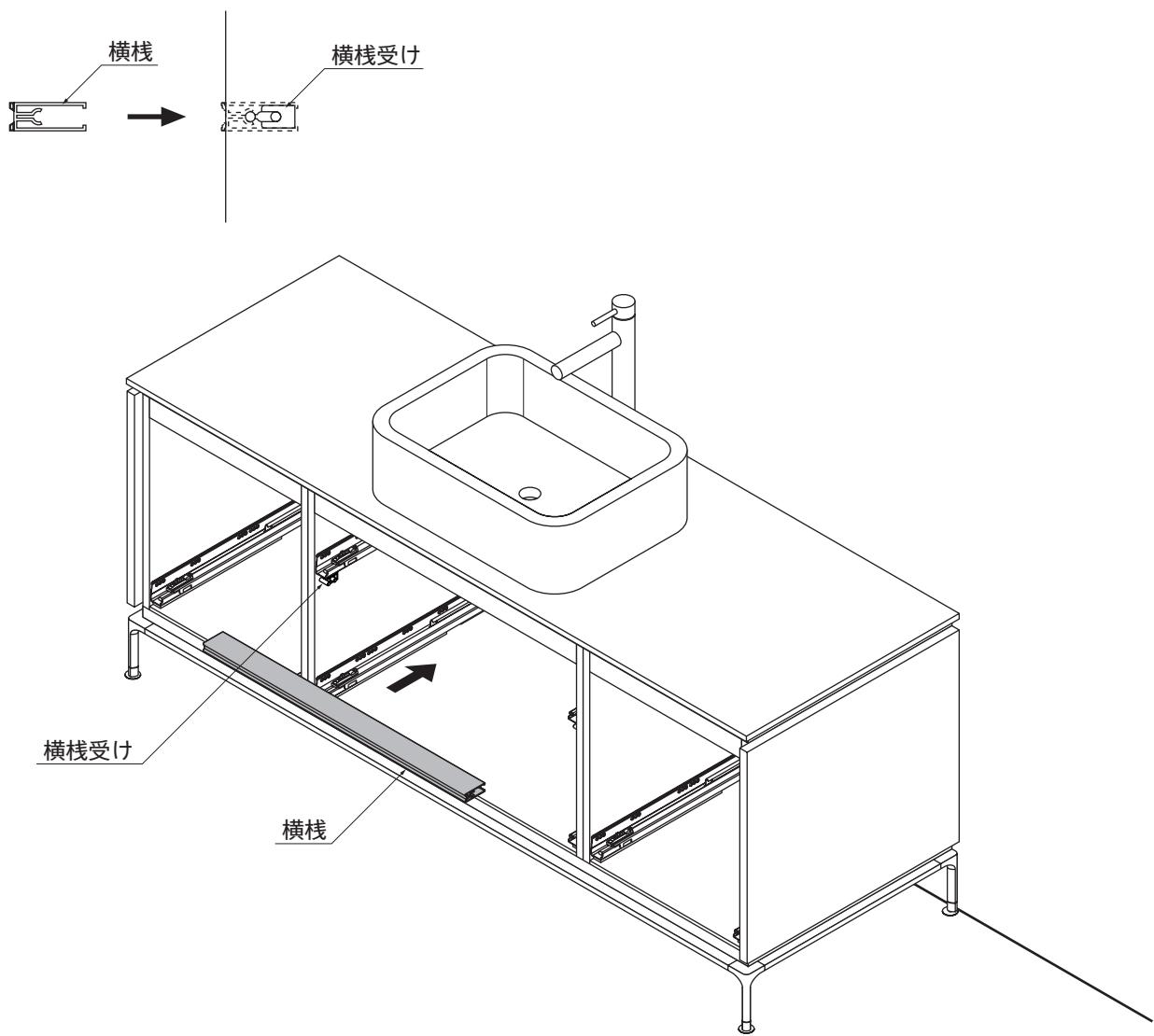
- ユニット背板に先ほど取り外した点検口フタを取付けます。
④トラスタッピンネジ3. 5×20（12本）を使用し、背板に点検口フタを取付けます。



22

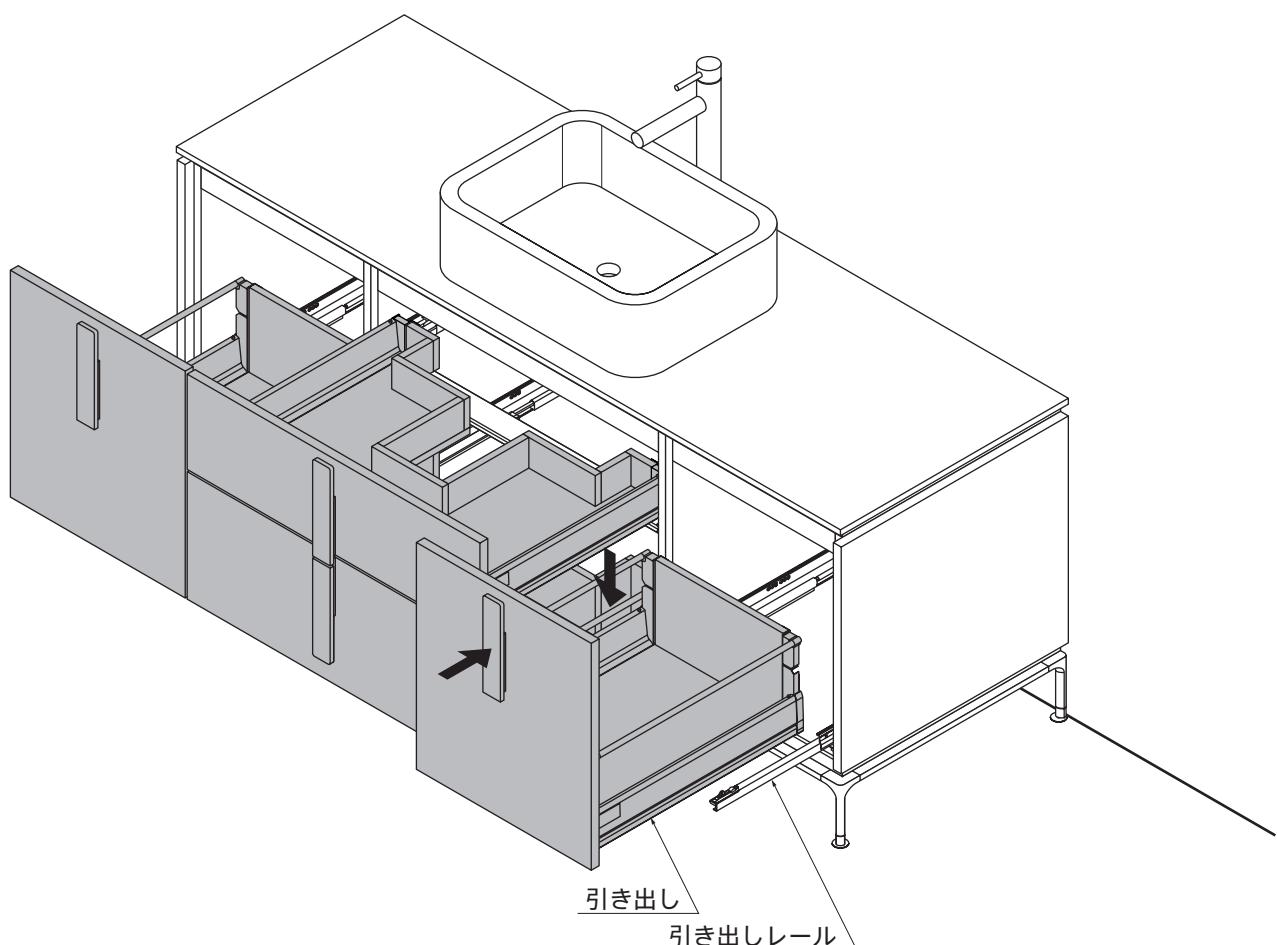
横桟の取付け（※引き出し2段タイプの場合）

- ユニット側板に取付いている横桟受けに横桟を差し込んで取付けます。



23 引き出しの取付け

- ・引き出しレールをいっぱいまで引き出します。
- ・引き出しレールの上に引き出しをのせます。
- ・引き出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引き出しレールに固定します。

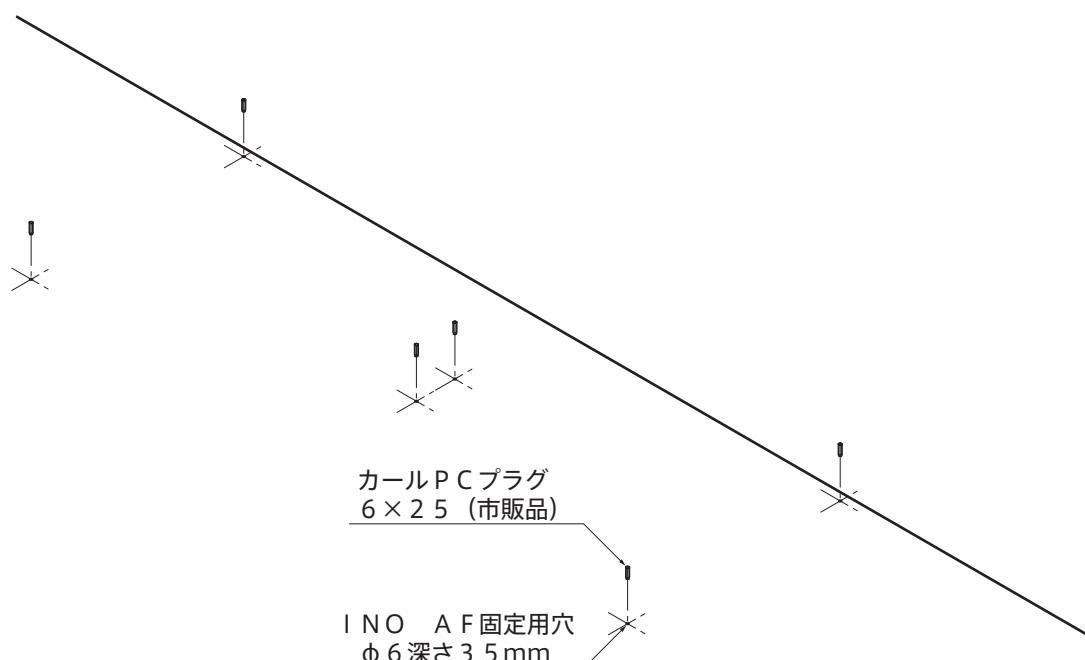


取付・設置方法 【シングルドロワ A F type】

① 固定用穴あけ (※床固定にカールPCプラグを使用する場合)

※コンクリート床、石床の場合、INO AFを設置する前にカールPCプラグを取り付けます。

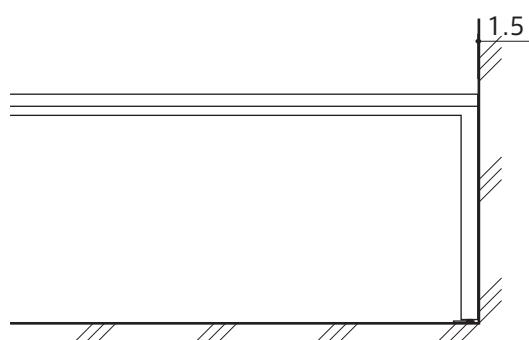
- INO AFの設置位置に固定用穴Φ6深さ35mmをあけます。
- 固定用穴にカールPCプラグ6×25(市販品)を打ち込みます。



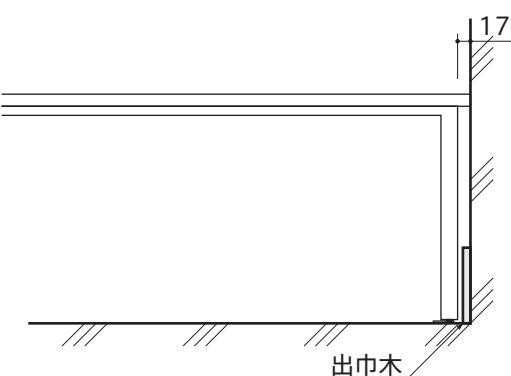
[側面図]

【背面の壁に出巾木がない場合】

【背面の壁に出巾木がある場合】

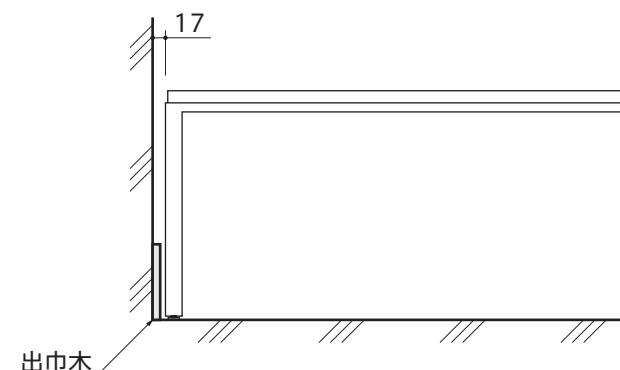


[正面図] (※INO AF側面が壁に隣接する場合)



【側面の壁に出巾木がない場合】

【側面の壁に出巾木がある場合】



2 INO AFの設置

- INO AFを床面に設置します。

※コンクリート床、石床の場合、床面にあけた固定用穴の位置に合わせて設置します。

3 レベル調整、INO AFの固定

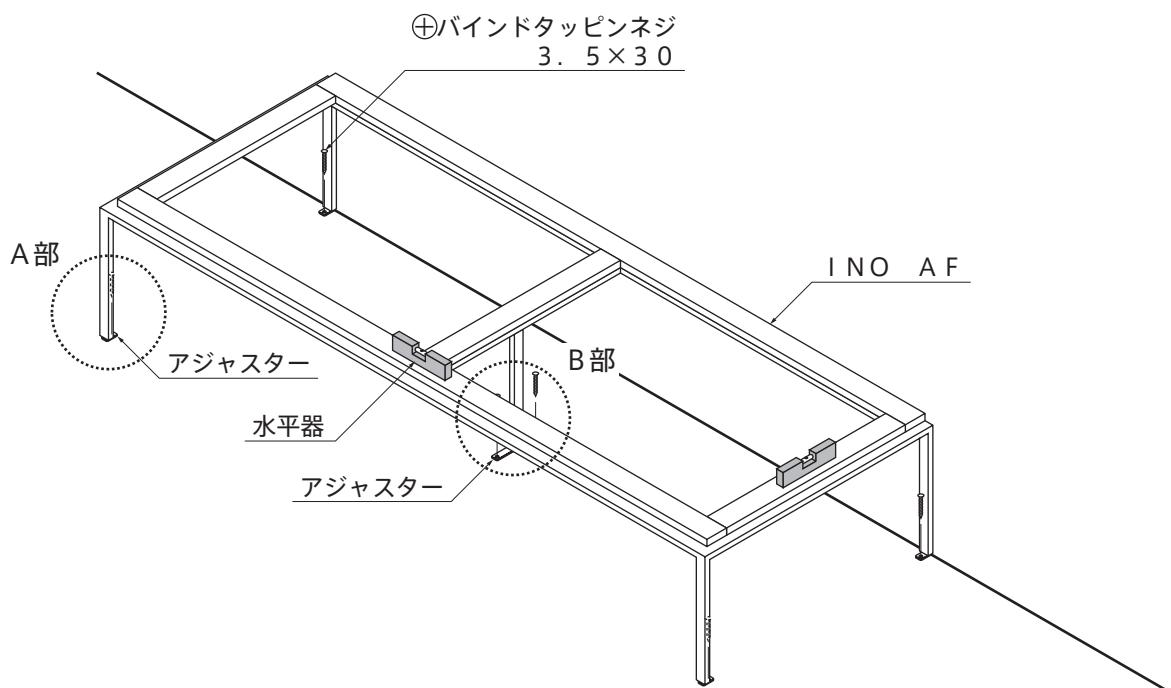
- INO AFのレベルを調整します。

INO AFのアジャスターにて水平を出します。

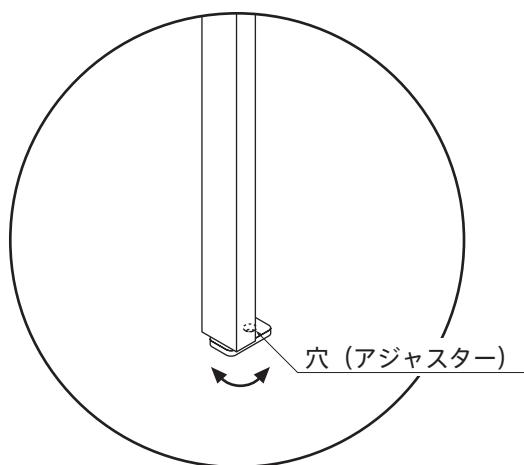
■調整範囲 $-1.5 \sim +10\text{ mm}$

※アジャスターは前後に穴がくるように調整します。

- INO AFのアジャスターの穴から \oplus バインドタッピンネジ 3.5×30 にて床面に固定します。

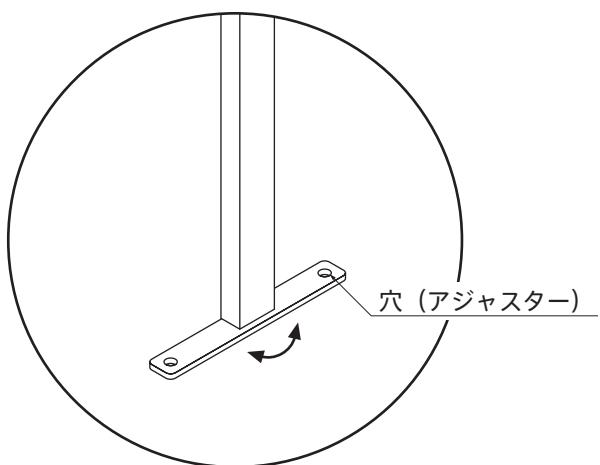


A部詳細図



※壁側に穴がくるように調整

B部詳細図

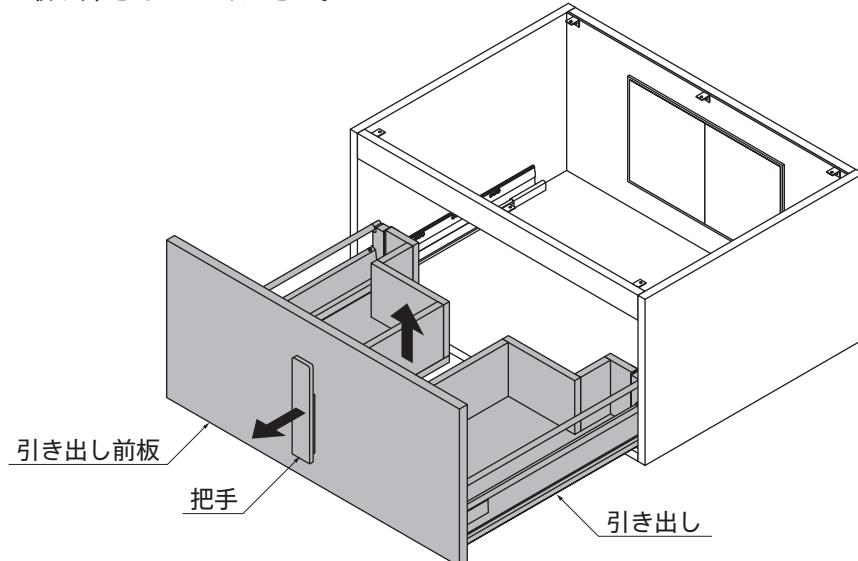


※前後に穴がくるように調整

4 引き出しの取り外し

- ・引き出しを取り外します。
- 引き出しをいっぶいまで引き出します。
- 引き出しを持ち上げて取り外します。

※把手や引き出し前板を持って取り外さないでください。

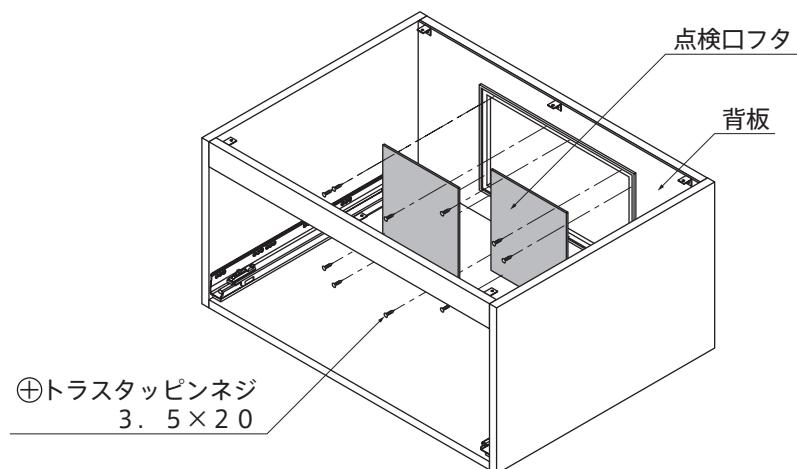


5 点検口フタの取り外し（※ボウルユニットの場合）

- ユニット背板から点検口フタを取り外します。

点検口フタを固定している \oplus トラスタッピンネジ3. 5×20（12本）を外します。

※取り外した点検口フタとネジはユニットを壁面に固定後、再び使用しますのでなくさないようにしてください。

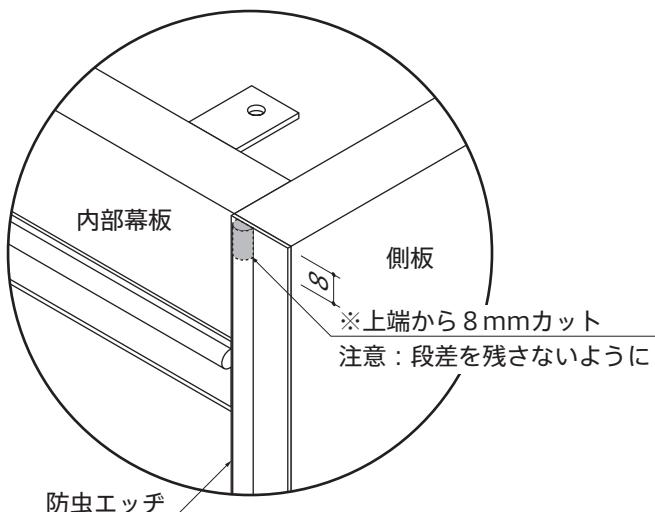


6 防虫エッチの加工

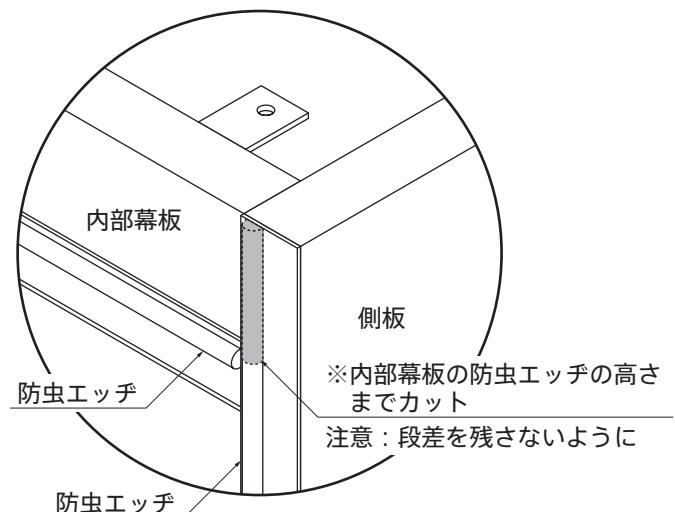
- ユニット側板上部の防虫エッチをカットします。
ハンドル付きの場合は、側板上部の防虫エッチを上端から8mmの位置までカットします。
ハンドルレスの場合は、側板上部の防虫エッチを内部幕板の防虫エッチの高さまでカットします。
- ユニット側板下部の防虫エッチをカットします。
側板下部の防虫エッチを底板の防虫エッチの高さまでカットします。
※カットした部分にスリット化粧板を貼るため、段差を残さないようにきれいに仕上げてください。

A部詳細図

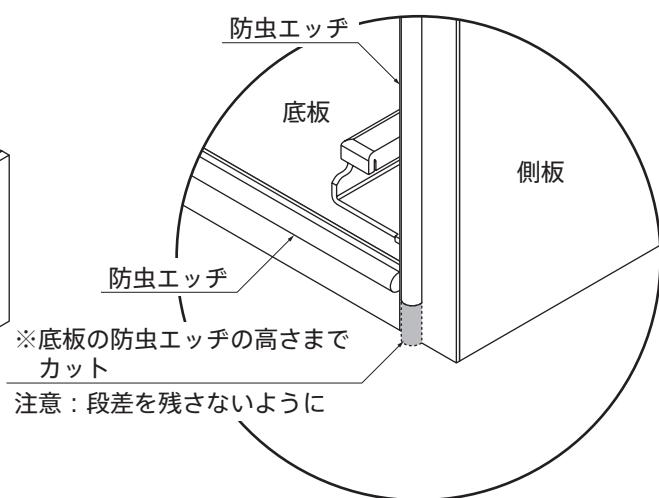
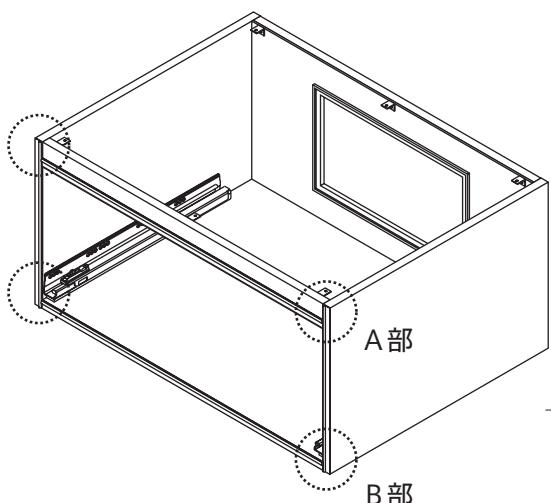
【ハンドル付きの場合】



【ハンドルレスの場合】

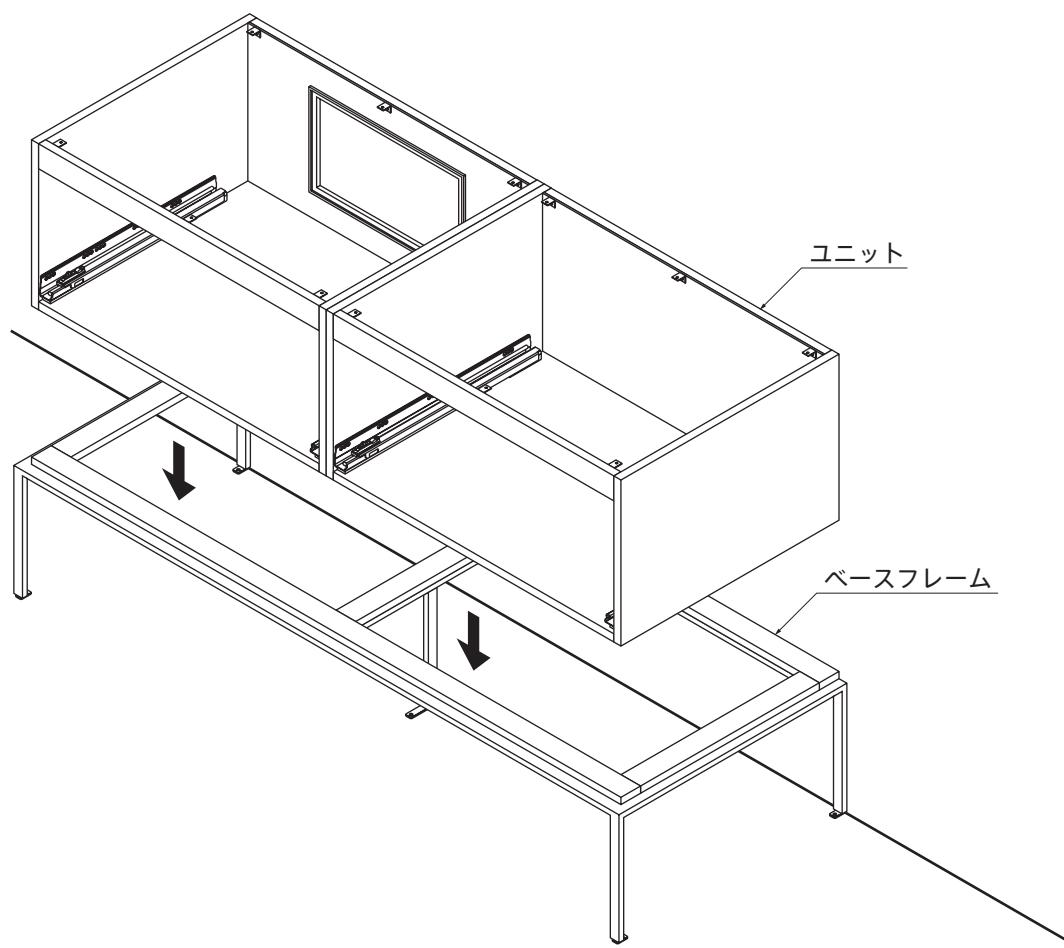


B部詳細図



7 ユニットの設置

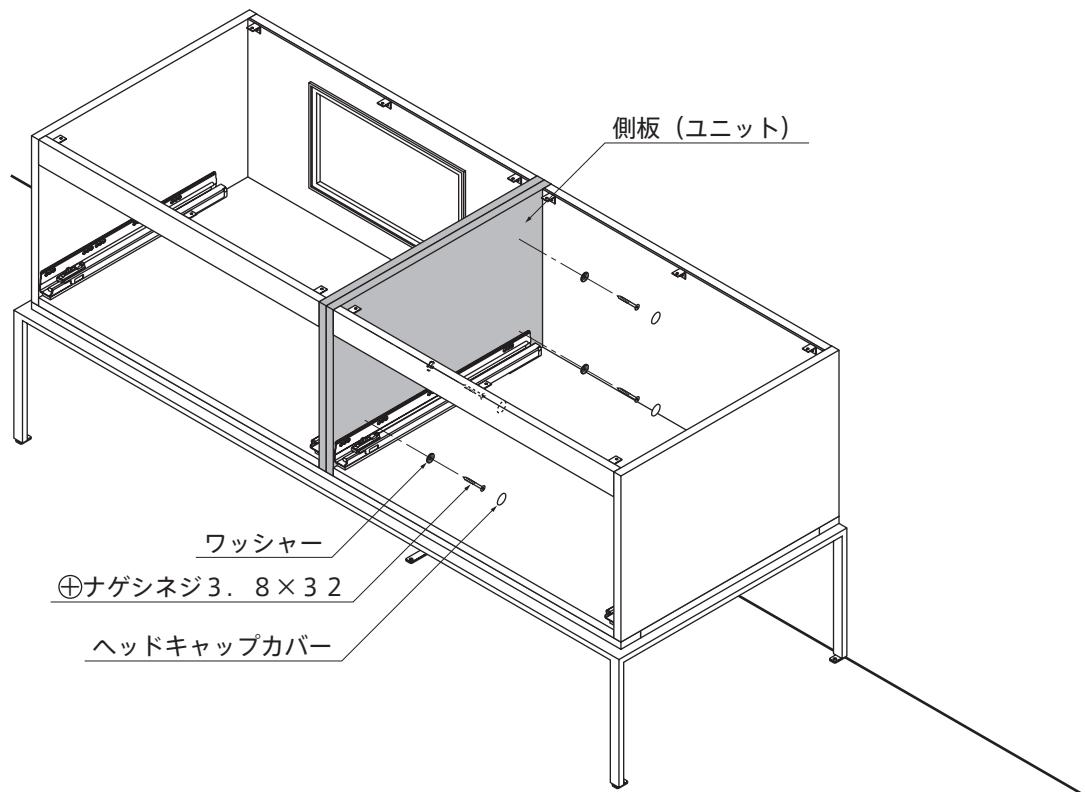
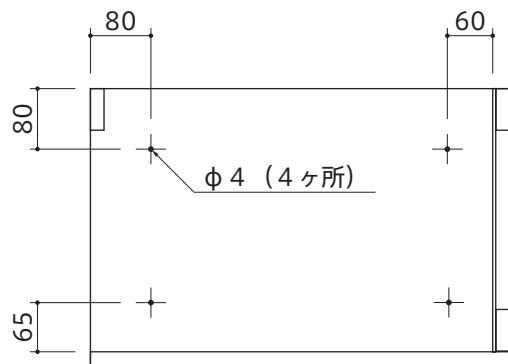
- ・ベースフレームの上にユニットを設置します。



8 ユニットの連結（※ユニットを連結する場合）

- ユニットの側板外面を合わせて、ユニット同士を連結します。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（4ヶ所）をあけます。
④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

■ユニット連結位置
[側板側面図]

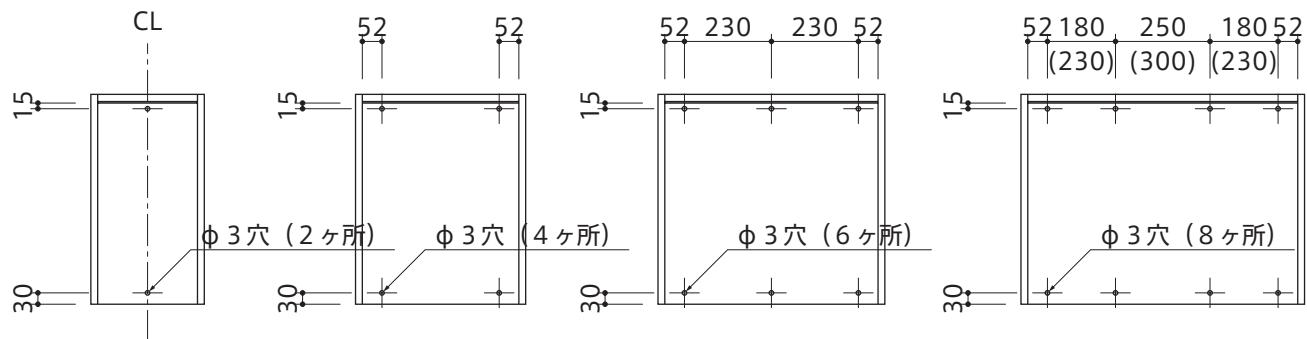


9 ユニットの固定

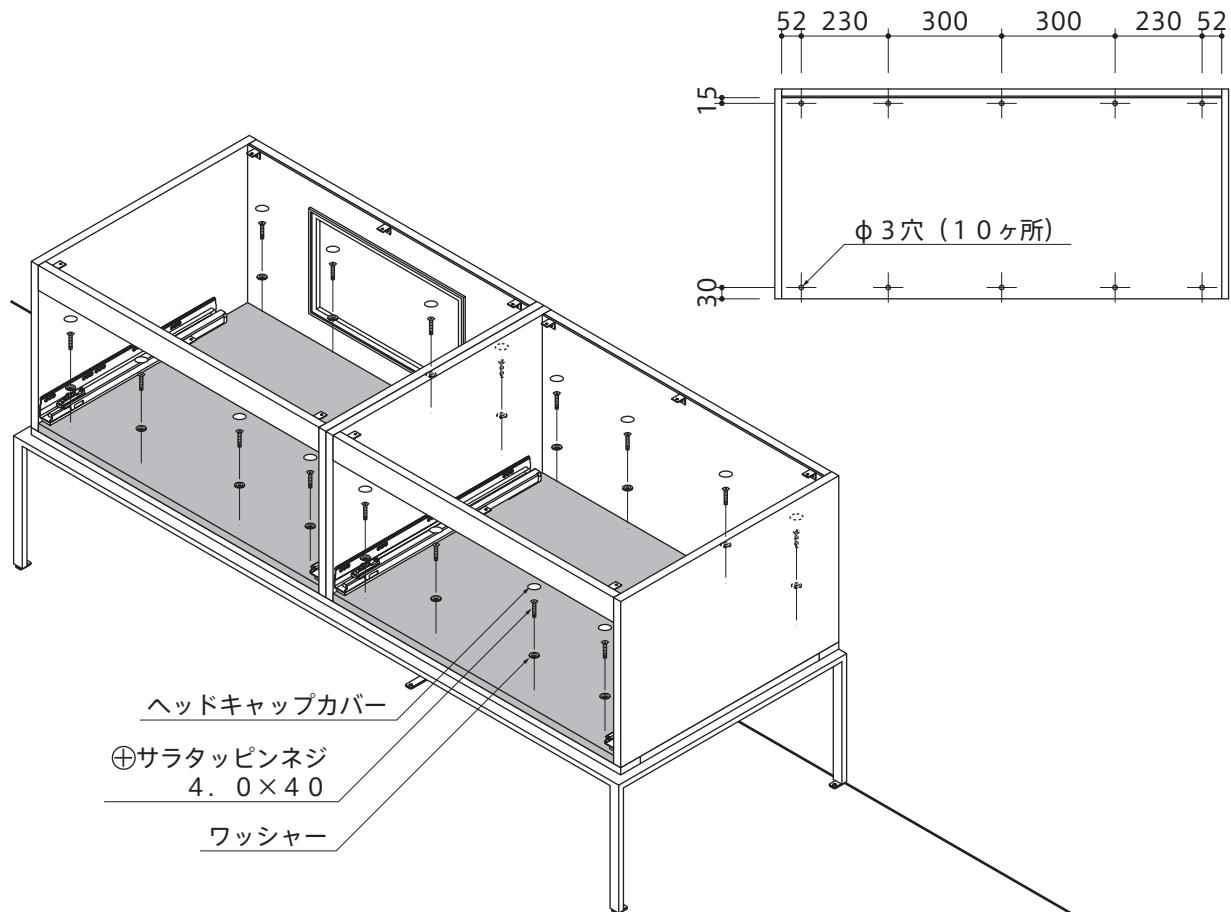
- ベースフレームの角パイプ前面コーナーとユニット前面コーナーを合わせて、ユニットを固定します。
ユニット底板の指定位置にΦ3穴（6ヶ所）をあけます。
- ⊕サラタッピンネジ4.0×40にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

■ユニット固定位置 [平面図]

【間口300の場合】 【間口450の場合】 【間口600の場合】 【間口750（900）の場合】

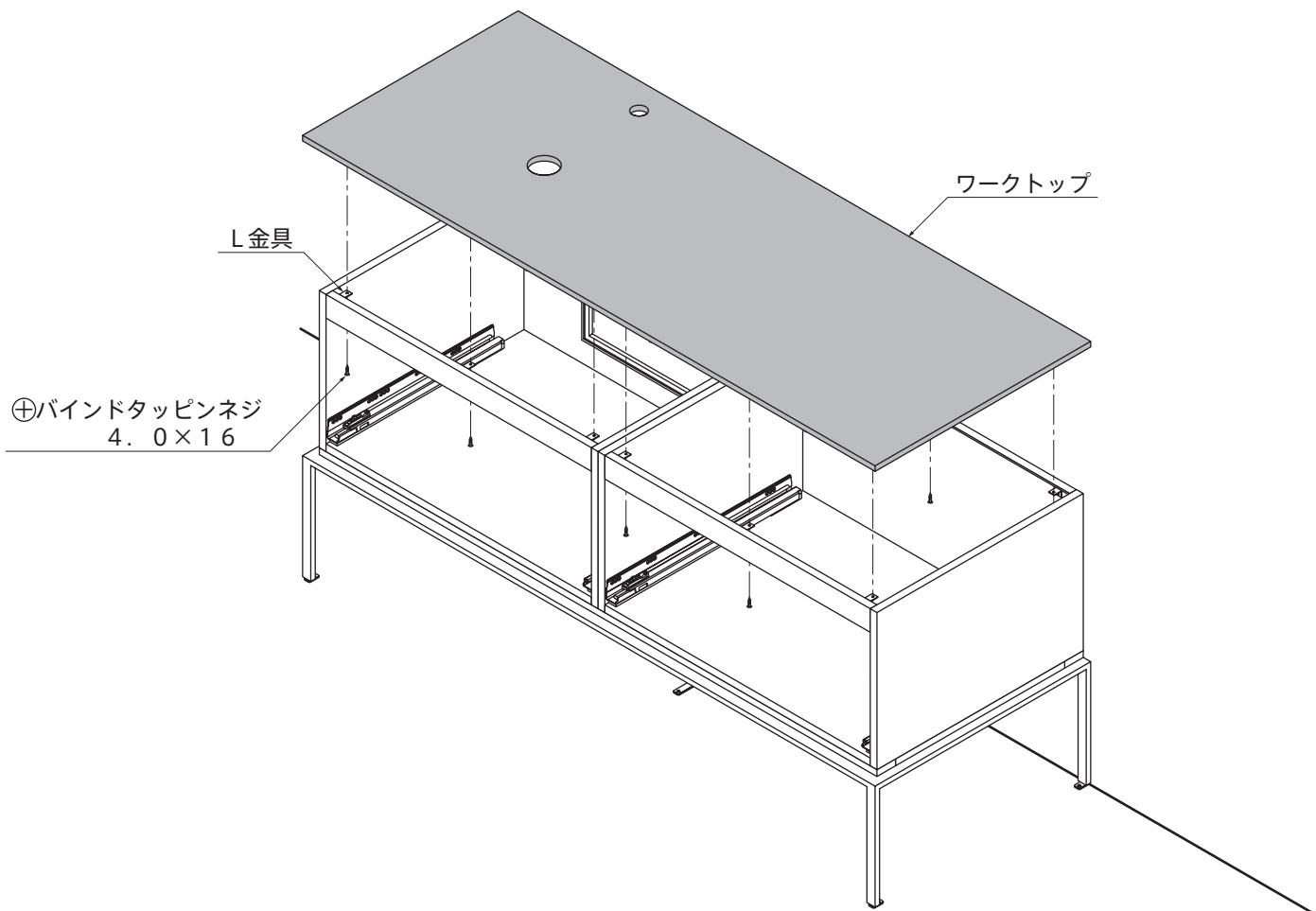


【間口1200の場合】



10 ワークトップの取付け

- ユニットの上にワークトップをのせ、背面を壁につけます。
- ユニットに取付けてあるL金具から \oplus バインドタッピンネジ4. 0×12にてワークトップを固定します。



11 スリット化粧板の取付け

- ・スリット化粧板（26mm）をユニット奥行に合わせてカットします。
- ・スリット化粧板（26mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、ワークトップ下地の側面上端に合わせて貼り付けます。
- ・スリット化粧板（ハンドル付きの場合26mm、ハンドルレスの場合53mm）をユニット全体間口と両側のスリット化粧板の厚みを合わせたサイズにカットします。
- ・スリット化粧板（26mmまたは53mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、ワークトップ下地の前面上端に合わせて貼り付けます。

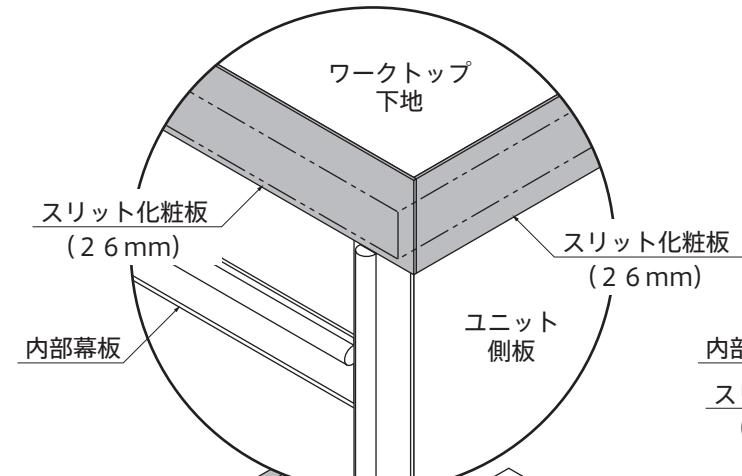
※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。

※一度貼ったら剥がしにくいため、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。

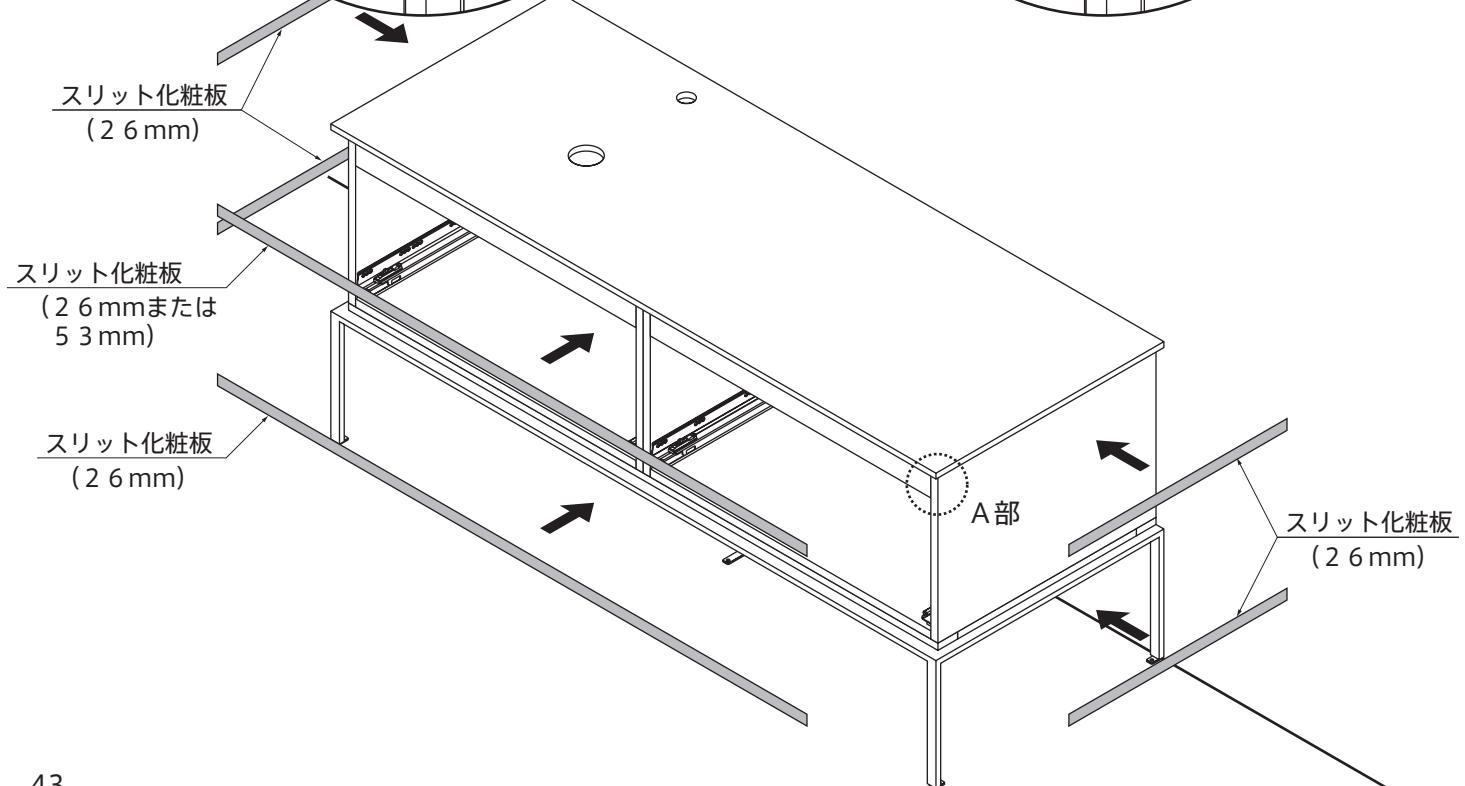
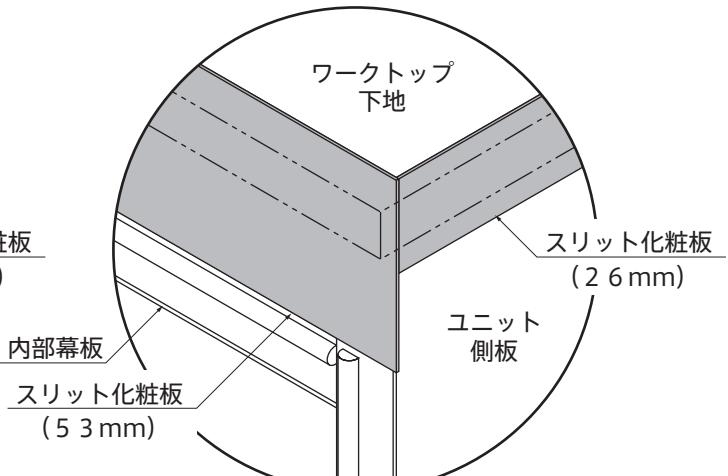
貼り付け後は、両面テープがしっかりと貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。

A部詳細図

【ハンドル付きの場合】



【ハンドルレスの場合】



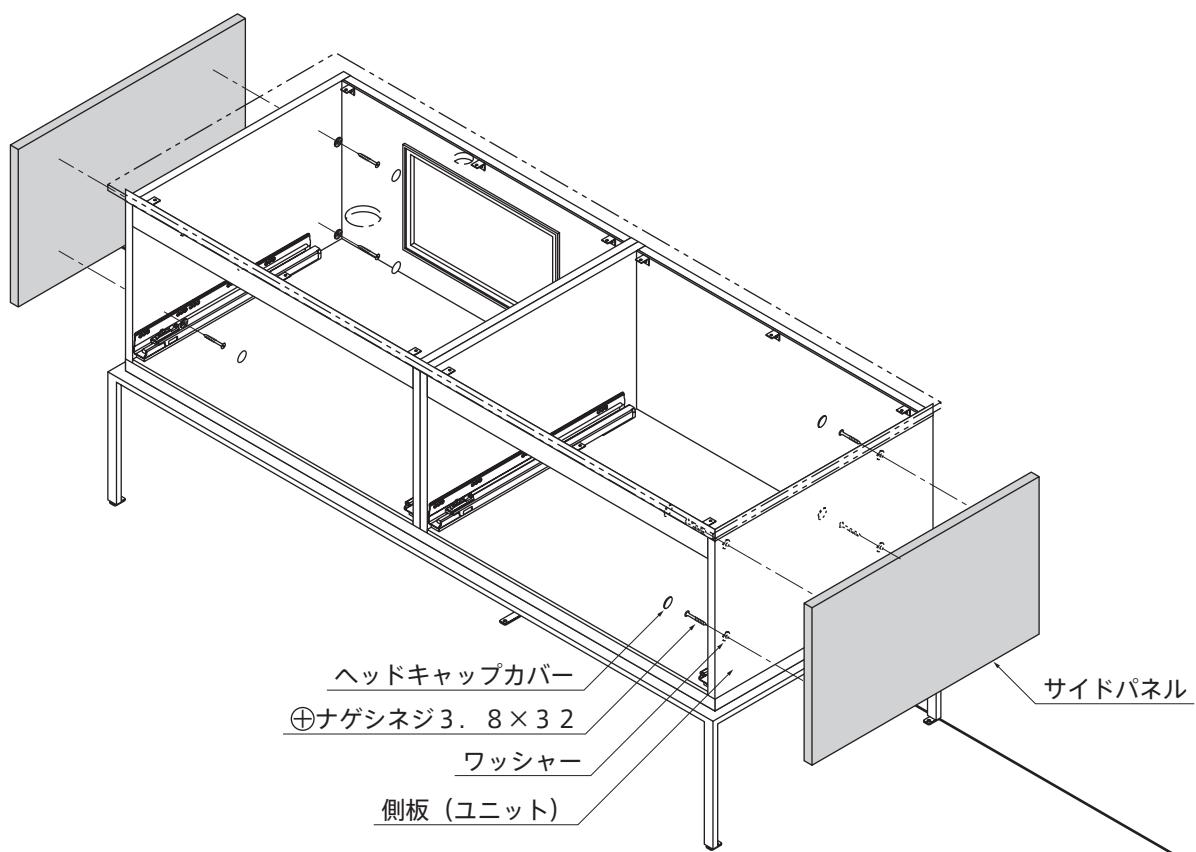
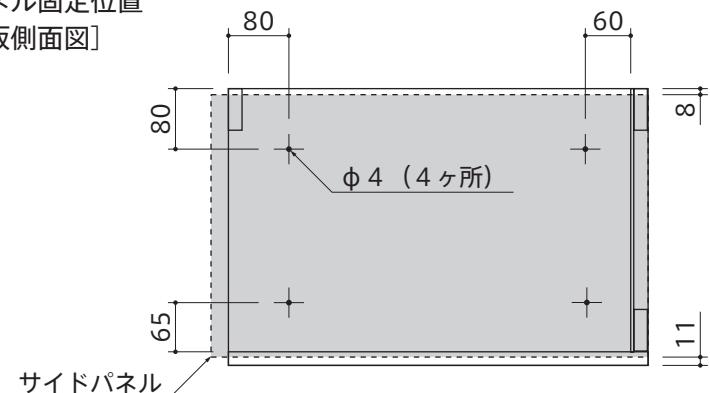
12 サイドパネルの取付け

- ユニット側板にサイドパネルを取付けます。

ユニット側板の指定位置にΦ4穴（4ヶ所）をあけます。

サイドパネルの背面下端に合わせて、 \oplus ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、サイドパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

■サイドパネル固定位置
[側板側面図]

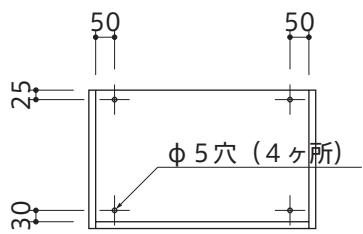


13 ユニットの壁面固定

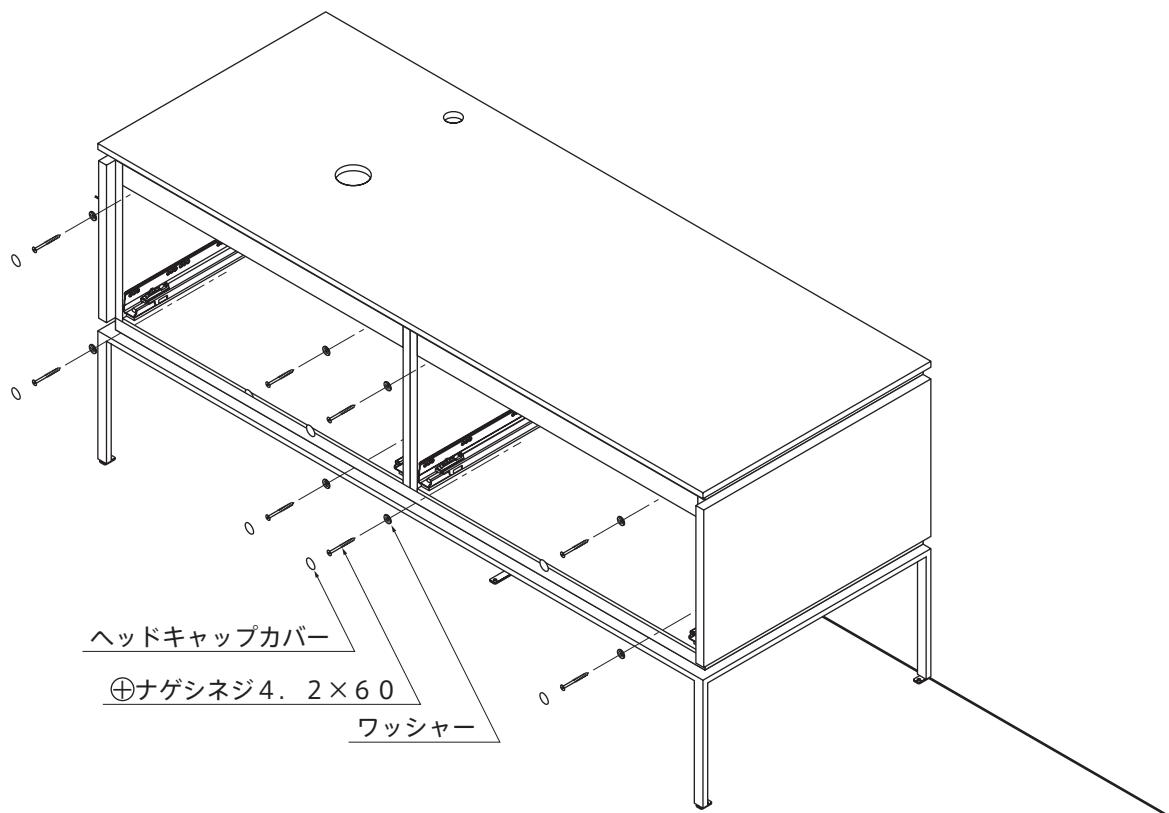
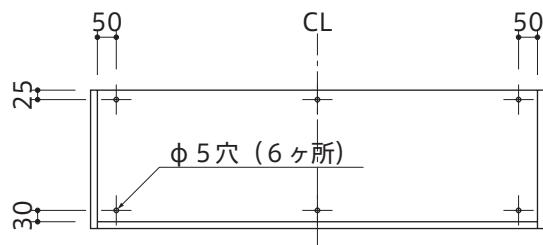
- ユニット内側より背板の指定位置にΦ5の下穴をあけ、 \oplus ナゲシネジ4. 2×60にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

■ユニット固定位置 [平面図]

【間口300～900の場合】



【間口1200の場合】



14 水栓の取付け（※水栓を取付ける場合）

- ワークトップにあいている水栓取付穴に水栓を設置します。

※付属の「取付・設置説明書」に従って取付けてください。

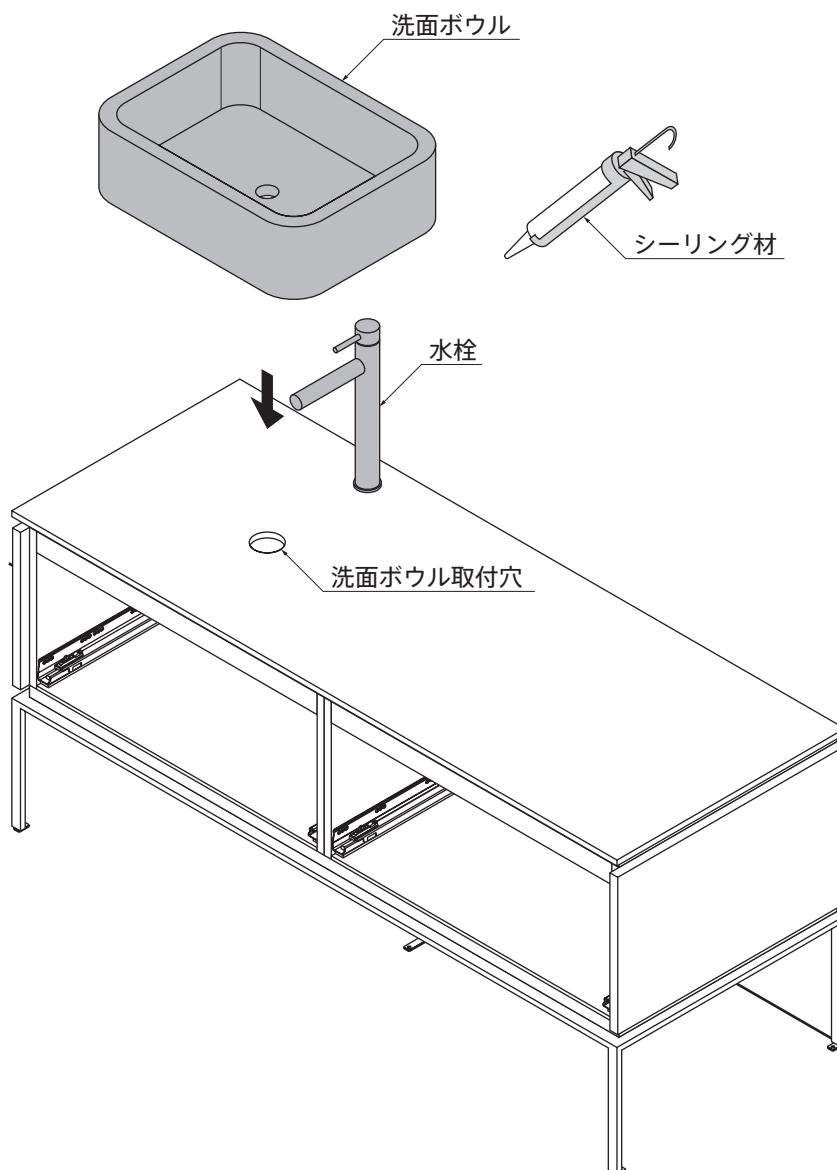
15 洗面ボウルの取付け（※洗面ボウルを取付ける場合）

- ワークトップにあいている洗面ボウル取付穴に洗面ボウルを設置します。

・洗面ボウルとワークトップの取付穴全周をシーリングします。

・洗面ボウルを取付け後、各配管を行います。

※洗面ボウルによって、取付穴や配管方法は異なりますので、それぞれに従ってください。

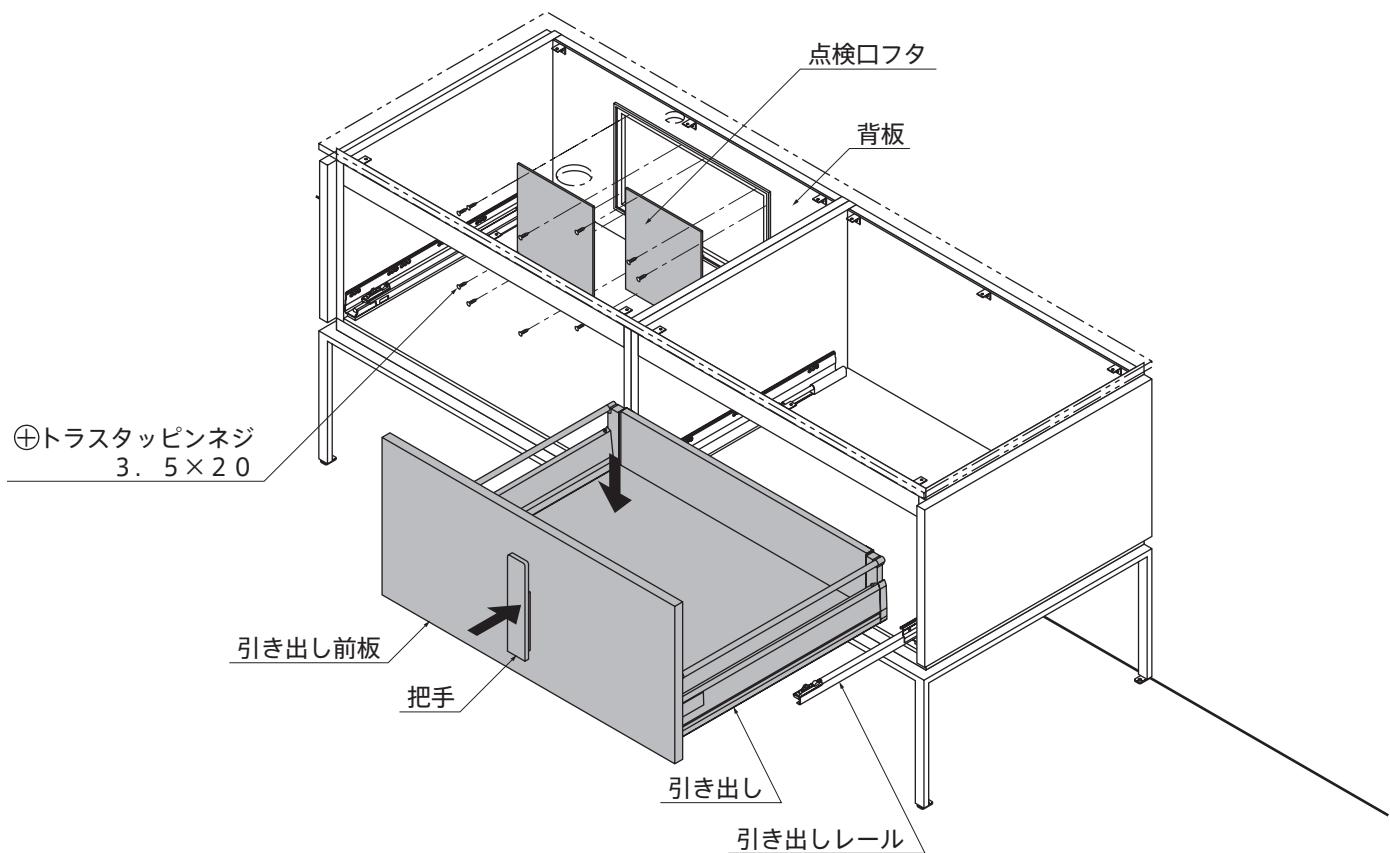


16 点検口フタの取付け（※ボウルユニットの場合）

- ユニット背板に先ほど取り外した点検口フタを取付けます。
④トラスタッピンネジ3.5×20（12本）を使用し、背板に点検口フタを取付けます。

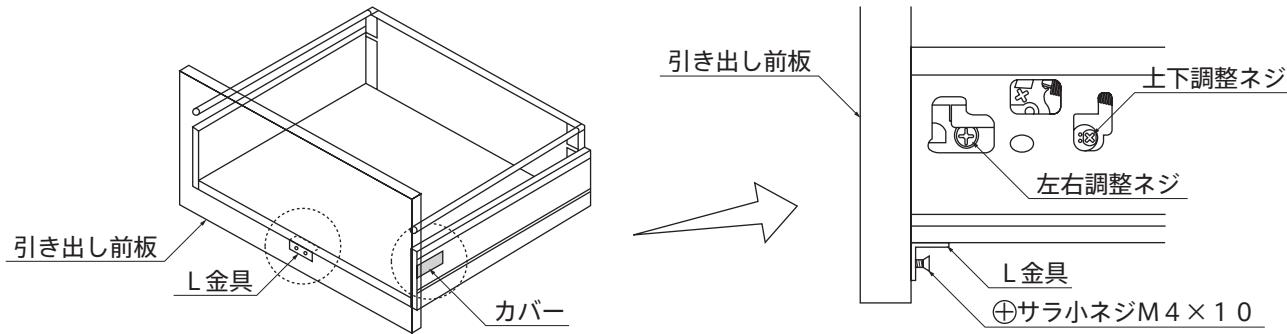
17 引き出しの取付け

- 引き出しレールをいっぱいまで引き出します。
- 引き出しレールの上に引き出しをのせます。
- 引き出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引き出しレールに固定します。



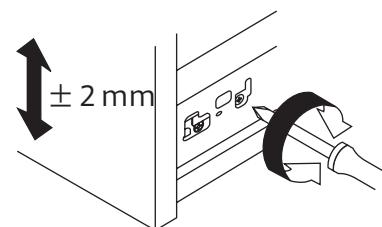
引き出し前板の調整

- ・引き出し側板左右外側についているカバーをマイナスドライバーなどで外してください。
- ・間口750mm以上のユニットの場合、引き出し底板裏面についているL金具の引き出し前板側の取付ネジ（+サラ小ネジM4×10）をゆるめます。
- ・調整が終わりましたら、取付ネジを締めて、カバーを取付けてください。



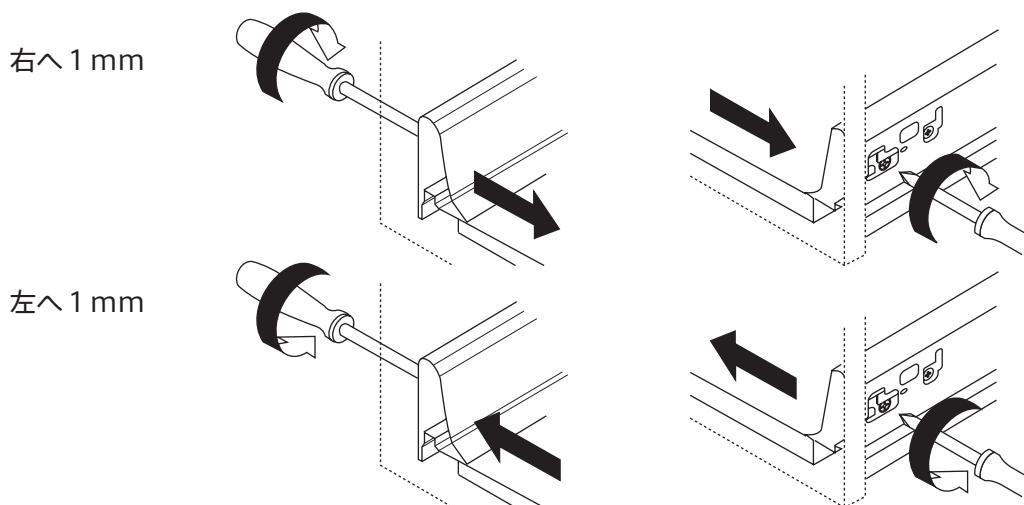
○上下方向

- ・上下調整ネジを+ドライバーで回して、上下方向を調整します。
±2mm調整できます。



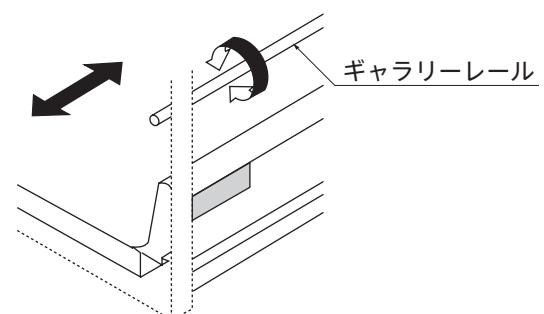
○左右方向

- ・左右調整ネジを+ドライバーで回して、左右方向を調整します。
±1mm調整できます。



○前後方向（傾き）

- ・ギャラリーレールを回して、傾きを調整します。



取付・設置後の点検・清掃

- 「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付・設置されているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。
- 表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷などの損傷が無いかを調べてください。

ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分および下地部分とも	F ★★★★☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による	
製造番号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください	
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	化粧パネル (P B) 合板 接着剤	F ★★★★☆ F ★★★★☆ F ★★★★☆

VOC放散性能	4 VOC基準適合（木質建材）
表示ルール	「住宅部品VOC表示ガイドライン」による

※4 VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>
トヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

お問い合わせ先

T E L 050 - 3852 - 2392 <受付時間 平日9:00~18:00 (※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く)>
メール tks@toyo1.toyokitchen.co.jp
F A X 0575 - 23 - 1262

スマートフォンからでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

